

2026年4月～2027年3月



マネジメントシステム (ISO・食品安全・IATF・ISMS 他) 研修ガイド



お問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部

E-mail : isoweb@jma.or.jp TEL : 03 (3434) 1242

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22



※本教育研修プログラムは、一般社団法人日本能率協会 審査登録センターの第三者審査登録活動とは峻別された独立した活動です。

※掲載のセミナーはすべて講師派遣研修が可能です。

お問い合わせ先 —————
日本能率協会 ISO研修事業部
E-mail : isoweb@jma.or.jp
TEL : 03-3434-1242

開催日											
2026年									2027年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
 9(木)	29(金)		 22(水)		 14(月)	27(火)		 4(金)		 19(金)	
						13(火)			 27(水)		
		 19(金)				 5(月)			 18(月)		
	21(木) 22(金)	16(火) 17(水)	 2(木) 27(月) 3(金) 28(火)		7(月) 8(火)	20(火) 21(水)	 26(木) 27(金)	1(火) 2(水)	28(木) 29(金)	25(木) 26(金)	
 14(火)				24(月)					 12(火)		
		19(金)			30(水)		 18(水)			16(火)	
		 2(火)								 10(水)	
								17(木)			
								11(金)			
								10(木)			
								18(金)			
			 8(水)							 3(水)	
	 21(木)							 7(月)			
											 9(火)
							 25(水)				
				 3(月)		9(金)				24(水)	
		 11(木) 12(金)	 23(木) 24(金)			6(火) 7(水)	 11(水) 12(木)			 16(火) 17(水)	
						 30(金)			 27(水)		
							 19(木)			 5(金)	
						26(月)			 15(金)		
					 4(金)					 15(月)	
			 10(金)				 10(火)		 21(木)		
					 3(木)						
	11(月)						20(金)				
					2(水)	 16(木)		7(月)			

分野	No.	セミナーID	タ イ ト ル	掲 載 ペー ジ	期 間	通常参加料
						(税込)/1名 上段：法人会員・JMAでISOの 審査を受けている企業 下段：会員外
環境	29	JMA100438	ISO14001新回事務局セミナー	34	1日	41,800円 47,300円
	30	JMA100435	ISO14001内部監査員養成コース	35	2日間	90,200円 101,200円
	3	JMA153060	ISO14001内部監査員のための [2026年版] 差分セミナー NEW	8	半日	33,000円 36,300円
	31	JMA100433	「環境法規制」セミナー	36	1日	41,800円 47,300円
労働安全衛生	5	JMA153063	HSE(安全・環境)統合内部監査員養成コース NEW	10	2日間	90,200円 101,200円
	32	JMA150794	労働安全衛生法規制セミナー	37	1日	41,800円 47,300円
BCP・CSR	33	JMA100556	ここからはじめるBCP(事業継続計画)セミナー (入門編)	38	1日	41,800円 47,300円
	34	JMA100557	次にやることBCP(事業継続計画)セミナー (深掘り編)	39	半日	37,400円 41,800円
	35	JMA152925	目からウロコの「自社ブランディング力向上」セミナー	40	1日	41,800円 47,300円
	36	JMA152926	サステナビリティでつかむ! 「時代が求める新しい企業競争力アップ」セミナー	41	1日	41,800円 47,300円
情報セキュリティ	37	JMA100426	ISMS理解促進コース (情報セキュリティマネジメントシステム)	42	2日間 (選択可)	79,200円(2日間) 91,300円(2日間) 41,800円(1日) 47,300円(1日)
	38	JMA100425	ISMS内部監査員養成コース	43	2日間	90,200円 101,200円
食	39	JMA100431	FSSC22000 規格解説・システム構築シリーズ(Ver.7対応)	44	2日間 (選択可)	79,200円(2日間) 91,300円(2日間) 41,800円(1日) 47,300円(1日)
	40	JMA100430	FSSC22000 内部監査員養成コース(Ver.7対応)	45	2日間	81,400円 92,400円
	41	JMA153035	FSSC22000 内部監査員のための差分セミナー(Ver.7対応) NEW	46	半日	33,000円 36,300円
	1	JMA153058	FSSC22000 Ver.7.0 差分解説&GAP分析実践セミナー NEW	6	1日	41,800円 47,300円
品	42	JMA100052	新任工場長・幹部のための 食品工場マネジメントセミナー	47	2日間 (選択可)	79,200円(2日間) 91,300円(2日間) 41,800円(1日) 47,300円(1日)
	43	JMA100429	食品安全チームリーダー実務セミナー	48	1日	41,800円 47,300円
	44	JMA100051	食品安全マネジメント新回事務局セミナー	49	1日	41,800円 47,300円
	45	JMA100428	「食品安全法規制」セミナー	50	2日間	90,200円 101,200円
	46	JMA100519	食品偽装の要求事項 詳説セミナー	51	1日	41,800円 47,300円
	47	JMA100427	食品安全のための 現場観察・指摘実践力習得セミナー	52	1日	41,800円 47,300円
	48	JMA22689	食品分野における外部製造委託 診断・評価/改善セミナー	53	1日	41,800円 47,300円
	49	JMA153010	食品防御とリスクアセスメント手法習得セミナー NEW	54	1日	41,800円 47,300円

開催日											
2026年									2027年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		🎧 18(木)			🎧 2(水)						
		🎧 4(木) 5(金)				29(木) 30(金)		🎧 21(月) 22(火)	28(木) 29(金)		
					9(水)		24(火)			🎧 2(火)	
	🎧 19(火)		🎧 17(金)		🎧 29(火)		🎧 18(水)			🎧 9(火)	
						🎧 14(水) 15(木)			18(月) 19(火)		
		16(火)						8(火)			
		🎧 10(水)		24(月)			🎧 6(金)			15(月)	
					🎧 17(木)						🎧 2(火)
						🎧 21(水)					
							🎧 27(金)				
			🎧 2(木) 3(金)			🎧 22(木) 23(金)				🎧 4(木) 5(金)	
		11(木) 12(金)			17(木) 18(金)		26(木) 27(金)			18(木) 19(金)	
23(木) 24(金)		🎧 8(月) 9(火)		24(月) 25(火)		13(火) 14(水)		🎧 3(木) 4(金)		🎧 8(月) 9(火)	
	18(月) 19(火)	🐱 8(月) 9(火)	9(木) 10(金)		28(月) 29(火)		🐱 16(月) 30(月) 17(火) 1(火)		25(月) 26(火)		15(月) 16(火)
								10(木)	🎧 12(火)	🎧 10(水)	2(火)
						🎧 2(金)		2(水)	19(火)		🎧 12(金)
						29(木) 30(金)					18(木) 19(金)
		🎧 3(水)				🎧 27(火)			🎧 19(火)		
🎧 20(月)						🎧 26(月)					
	🎧 27(水) 28(木)		🎧 21(火) 22(水)		🎧 10(木) 11(金)		🎧 24(火) 25(水)			🎧 15(月) 16(火)	
							🎧 26(木)				
			🎧 3(金)			🎧 19(月)					🎧 8(月)
		🎧 5(金)					🎧 20(金)				🎧 19(金)
									29(金)		



新規セミナー

～ 2015年版の内部監査員対象 2026年版の修了証授与 ～

ISO14001内部監査員のための [2026年版] 差分セミナー

◆「2026年版の差分監査チェックリスト」を配布します

開催日時	2026年 9月 9日(水) 東京会場 2026年11月24日(火) 東京会場 2027年 2月 2日(火) オンライン	各回とも 13:30～16:30	講義後 修了テストを実施します (合格者に2026年版の修了証授与)
受講対象	・ISO14001内部監査員（2015年版）		
講師	中川 優氏 株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長 一般社団法人日本能率協会 主任講師	参加料(税込)	日本能率協会法人会員：33,000円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：33,000円/1名 上記会員外：36,300円/1名 ※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

開催趣旨 2026年8月の「JIS Q 14001:2026」発行に伴い、ISO14001取得企業は2029年4月までに新規格への移行を完了する必要があります。本セミナーは、既に2015年版の資格を持つ内部監査員を対象に、新旧対比を用いて「変更点(差分)」を中心に半日で効率的に学ぶプログラムです。

「変更の計画策定」の新規追加をはじめ、環境側面やリスク・機会の捉え方など、実務に直結する主要な改定ポイントを分かりやすく解説し、講義後の修了テストにて「2026年版修了証」を授与します。

- 特徴**
- ① 半日でISO14001:2026年版の内部監査員資格を獲得（対象：2015年版監査員）
 - ② 新旧比較で分かりやすい教材で研修を実施
 - ③ 講義後修了テストの修了者には2026年版の修了証を授与

■ プログラム	13:30～16:30
1 2026年8月JIS Q 14001：2026規格発行の背景 (1) 規格改定の背景と格改定の概要 (2) 2026年版移行審査	6.1.2 環境側面 6.1.5 リスク及び機会 6.3 変更の計画策定（新規） 7.2 力量 9.2.2 内部監査プログラム 9.3 マネジメントレビュー ほか
2 新旧対比により主要な改定内容を“差分”で理解する（附属書の変更により規格解釈に影響を及ぼす差分も含む） 4.1 組織及びその状況の理解 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解 5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.2 環境方針	3 質疑応答・修了テスト

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ISO9001/14001:2026年版 「統合マニュアル」改定セミナー

～ ISO9001とISO14001の統合マネジメントシステムの
2026年版の改定対応 ～

開催日時	2026年10月26日(月) 東京会場 2027年 1月15日(金) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	・ISO9001/ISO14001を統合している組織（予定企業を含む）の管理責任者、事務局、内部監査員、その他 ・ISO9001及び14001：2026年版に関心のある方々	
講師	中川 優氏 株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長 一般社団法人日本能率協会 主任講師	参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。（各自でご用意ください） ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

開催趣旨 2026年のISO9001およびISO14001の改定は、品質・環境を一体運用する「統合マネジメントシステム(IMS)」を持つ企業にとって、マニュアル刷新の大きな契機となります。両規格の共通改定への対応はもちろん、それぞれの個別改定や、近年のサステナビリティ動向に伴う「解釈の変化」を、1つの仕組みの中にどう矛盾なく落とし込むかが成否を分けます。本セミナーでは、新旧規格の対比解説に加え、統合マニュアル（一次文書）や各種規定類（二次文書）の具体的な制改訂のポイントを1日で徹底解説します。

他社の事務局と課題やノウハウを共有できるグループ討議も交え、実務に直結する移行ロードマップを提供します。

- 特徴**
- ① ISO9001/14001の「QE統合マニュアル」を改定について具体的に解説
 - ② ISO9001/14001の2026年版改定を新旧比較で分かりやすく解説
 - ③ 特にサステナビリティの動向等から「改定はないが解釈が変わりつつある箇条」を解説
 - ④ 講義後、グループ討議により他者事務局との意見交換を行う

■ プログラム	10:00～17:00 【昼休み】 12:00～13:00
1 ISO9001/14001：2026年版改定の背景 2 ISO9001/14001の共通改定 3 ISO9001個別の改定の解説 4 ISO14001個別の改定の解説 5 サステナビリティの動向から規格解釈に影響する箇条（QE） 6 効果的な統合マニュアル（一次文書）の制改訂のポイント 7 規定類（二次文書）改訂のポイント 8 グループ討議 9 質疑応答	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

HSE（安全・環境）統合 内部監査員養成コース ～ ISO14001×ISO45001 環境・労働安全衛生統合マネジメント ～

開催日時 2026年10月14日(水)～15日(木) **オンライン**
2027年 1月18日(月)～19日(火) **東京会場** 各回とも 10:00～17:00

受講対象 ・ISO14001及びISO45001内部監査員候補者

講師 中川 優氏
株式会社オフィスグラビティー
代表取締役社長
一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員：90,200円/1名
JMAでISO審査を受けている企業：90,200円/1名
上記会員外：101,200円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

目的 ISO14001:2026及びISO45001:2018の統合マネジメントシステムの内部監査員候補者を対象に、内部監査の基礎を習得する。

特長

- ①最近進みつつあるHSE(又はEHS)の統合内部監査員のための研修です
- ②両規格の共通点と差異点を踏まえた画期的な内容です
- ③実務的なケース及び演習を交えて気づきの多い研修です

主旨 EUを中心にHSE(Health & Safety, Environment ※米国EHS)、つまり労働安全衛生と環境を統合したマネジメントシステムの構築・運用、及び内部監査が進んでいる。
日本、特に製造業では、これまでISOと言えばQMSとEMSのQE統合が主流だった。ところが別々の活動だったはずの環境マネジメントと労働安全衛生がいま急速に接近しつつある。
背景にはサステナビリティやESG経営、ウェルビーイングなどの普及・進展により、人的資本の強化が見直され「従業員の安全・健康」をより重視する戦略転換があると言われている。
本研修では、自主的な改善活動を促す「ケーススタディ」を使い、HSEマネジメントシステムの理解を深め、業務プロセスに潜むリスクの早期発見により組織のパフォーマンス向上に寄与する内部監査の手法を実践的に習得する。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
【1日目】		【2日目】
1 環境・安全トピックス／ISO規格と内部監査の基礎 ・両規格の内部監査上の共通点と差異点		1 内部監査のヒアリングスキル
2 ISO14001・ISO45001解説(簡条4～6)		2 演習Ⅱ ケースを使ったチェックリスト作成
3 演習Ⅰ		3 演習Ⅲ ロールプレイ(指摘事項)
4 ISO14001・ISO45001解説(簡条7～10)		4 まとめ・Q&A
5 グループ討議 両規格の気づきと疑問点		5 筆記試験・修了証授与
6 内部監査の進め方		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

基礎から学ぶ ISO9001規格解説セミナー

開催日時 2026年 4月 9日(木) **オンライン**
2026年 5月 29日(金) **東京会場**
2026年 7月 22日(水) **オンライン**
2026年 9月 14日(月) **オンライン**

2026年10月27日(火) **東京会場**
2026年12月 4日(金) **オンライン**
2027年 2月19日(金) **オンライン**
各回とも 10:00～17:00

受講対象 ・ISO9001を初めて学ぶ方
・ISO9001事務局・QMS推進・構築メンバーの方
・品質管理部門、購買・調達部門の方

講師 宮澤 武氏
一般社団法人日本能率協会
QMS主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名
上記会員外：47,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

- ◆ ISO9001の概要や審査制度、わかりにくい用語をわかりやすく解説。
- ◆ さまざまな身近な事例(起こりがちな失敗例、事故等)をISO9001規格と照らし合わせることで、ISO9001規格を身近なものとして理解できます。
- ◆ ISO9001規格の意図を理解することで自社の品質マネジメントシステム(QMS)の理解と活用方法のポイントを学べます

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 ISO9001に関する基礎知識を学ぶ (ISOとは何か?ISO9001とは何か?…) ・ISOとは ・ISO規格には何があるか ・マネジメントシステム規格には何があるか ・品質マネジメントシステムとは ・ISO9000ファミリーの歴史 ・品質マネジメントの7原則		(4)「簡条6 計画」 6.1 リスク及び機会への取組み 6.2 品質目標及びそれを達成するための計画策定 6.3 変更の計画 (5)「簡条7 支援」 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.5 文書化した情報 7.5.1 一般 7.5.2 作成及び更新 7.5.3 文書化した情報の管理 (6)「簡条8 運用」 8.1 運用の計画及び管理 8.2 製品及びサービスに関する要求事項 8.3 製品及びサービスの設計・開発 8.4 外部から提供されるプロセス、製品及びサービスの管理 8.5 製造及びサービス提供 8.6 製品及びサービスのリリース 8.7 不適合なアウトプットの管理 (7)「簡条9 パフォーマンス評価」 9.1 監視、測定、分析及び評価 9.2 内部監査 9.3 マネジメントレビュー (8)「簡条10 改善」 10.1 一般 10.2 不適合及び是正処置 10.3 継続的改善
2 ISO9001で用いられる用語の解説 ・品質に関する用語 ・マネジメントに関する用語 ・プロセスに関する用語 ・適合性に関する用語 ・評価に関する用語		
3 ISO9001「品質マネジメントシステム — 要求事項」の解説 (1) 規格全体概要解説 ● 品質マネジメントの原則と要求事項 (2)「簡条4 組織の状況」 4.1 組織及びその状況の理解 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解 4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定 4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス (3)「簡条5 リーダーシップ」 5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.1.1 一般 5.1.2 顧客重視 5.2 方針 5.3 組織の役割、責任及び権限		4 まとめ — 役に立つマネジメントシステムとは 5 質疑応答

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。





ISO9001:2026 改訂規格の差分解説セミナー

～ISO9001:2026 対応モデル「品質マニュアル」例付き～

開催日時	2026年10月13日(火) 東京会場 2026年 1月27日(水) オンライン	各回とも 13:30～16:30
受講対象	・品質マネジメントシステム認証取得済の企業・組織の管理責任者・事務局の方々、内部監査員	
講師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部 主任講師	参加料(税込) 日本能率協会法人会員: 33,000円/1名 JMAでISO審査を受けている企業: 33,000円/1名 上記会員 外: 36,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

目的

ISO9001は、業種や規模を問わず、あらゆる組織が「顧客満足度の向上」と「一貫した製品・サービスの提供」を目指して、品質マネジメントシステム(QMS)を構築・運用するための国際規格です。このISO9001が約10年ぶりに改訂されることとなり、日本国内でも2026年12月までにJISQ9001として発行が見込まれています。認証の移行など現時点で未定の事項もありますが、改訂版規格への対応を進めたい方々へ向けて、本セミナーを開催いたします。

※本セミナーは、改訂規格の全文を資料でご提供するものではありません。
ISO9001:2026 品質マネジメントシステム—要求事項は、日本規格協会(JSA Webdesk)よりご購入ください。

■ プログラム		13:30～16:30
1 ISO9001の改訂概要 1-1. 規格改訂の流れと現状について 1-2. 改訂規格の主要な変更点 2 品質マネジメントシステムへの影響 2-1. 組織が目すべき改訂規格の考え方 - 変化のマネジメント - 倫理及び誠実さ - 組織文化 - 事業継続計画 2-2. 「リスク及び機会」の変更点 「リスク及び機会の決定プロセス」を見直す	3 2026年版主要変更内容とその対応方法 3-1. 主要変更箇所の解説 3-2. 2026年版対応モデル「品質マニュアル」の解説 3-3. 2026年版QMSの内部監査のポイント 3-4. 改訂版への移行のための手順やスケジュール	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



新任管理責任者・事務局・推進者のための 「ISO9001理解促進シリーズ」 ISO9001 新任事務局セミナー

開催日時	2026年 6月19日(金) オンライン 2026年10月 5日(月) オンライン	2027年 1月18日(月) オンライン 各回とも 10:00～17:00
受講対象	・新任ISO推進者・新任管理責任者 ・これからISO9001認証取得をする企業のISO推進者・管理責任者	
講師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師	参加料(税込) 日本能率協会法人会員: 41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業: 41,800円/1名 上記会員 外: 47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

目的	ねらい
～新任事務局としての役割、行動をしっかりと学ぶ～ ISO9001認証組織において、人事異動や組織体制の再編等により、新たにISO9001事務局・管理責任者に任命される方も多いことと思います。 これまでISOに関する知識が自身の担当する業務に限定されていた方も新たにISO事務局という立場になれば、社内の品質マネジメントシステム(QMS)全般に関して把握しなければなりません。同時に、これまで以上にISOに関係する知識等を深めていく必要があります。 本セミナーでは、「ISO9001新任事務局」の方々を対象に、ISO9001に関する知識や審査制度に関する知識、QMSの運用(活用)に関する知識、またISO事務局として求められる役割などを学ぶ目的で開催いたします。	◆ ISO新任事務局に求められる役割、行動について学ぶ。 ◆ ISO事務局として押さえておきたい、QMSの活用方法について学ぶ。 ◆ ISOの専門用語や規格の概要、審査制度に関する知識について学ぶ。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 ISO9001事務局およびISO9001管理責任者の役割とは ・事務局・担当者とは —その位置付け ・QMSの運用体制づくり ・年間計画の策定 2 第三者認証登録制度と審査機関との上手な付き合い方 ・ISO9001認証とは ・ISO9001審査までの過程 ・ISO9001審査までに何をすべきか ・審査における「不適合」や「観察事項」とその対応 ・継続的改善に「審査」をどのように活かすか 3 ISO9001事務局が知っておくべき知識 ・品質マネジメントシステムは“経営管理ツール” ・品質マネジメントシステムのねらい ・品質マネジメントの原則	4 QMSの課題と現状分析、改善について ・QMSで陥りがちな“症状” ・QMS運用実態 ・主要な課題 5 QMSを効果的に運用するポイント ・QMS改善のための優先事項 ・QMS改善の進め方 ・主要プロセスの見直し ・改善の着眼点 ・QMS改善のためのマネジメントレビュー ・是正処置のすすめ方 ・内部監査を有効なものにするには ・QMS文書のスリム化(適正化) 6 まとめ、質疑応答	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ISO9001 内部監査員養成コース

開催日時	2026年 5月21日(木)～22日(金) 東京会場	2026年 10月20日(火)～21日(水) 東京会場
	2026年 6月16日(火)～17日(水) 東京会場	2026年 11月26日(木)～27日(金) 大阪会場
	2026年 7月 2日(木)～ 3日(金) 大阪会場	2026年 12月 1日(火)～ 2日(水) 東京会場
	2026年 7月27日(月)～28日(火) 東京会場	2027年 1月28日(木)～29日(金) 東京会場
	2026年 9月 7日(月)～ 8日(火) 東京会場	2027年 2月25日(木)～26日(金) 東京会場
	各回とも 10:00～17:00	

受講対象	・ISO9001内部監査員候補の方々 ・社内ISO9001推進事務局・管理責任者 ・品質保証、品質管理部門の担当者・責任者	
講師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師	
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：90,200円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：90,200円/1名 上記会員外：101,200円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。	

- ねらい
- ◆ 品質マネジメントシステム(QMS)の内部監査員に必要な“基礎知識”と“監査技術”を習得できる。
 - ◆ 品質マネジメントシステムの概要・目的と、監査基準の“ISO9001規格”をレビューできる。
 - ◆ “内部監査＝不適合探し”ではないことを習得できる。
 - ◆ 演習による模擬監査を通じて監査の手順・ポイントを学べる。
 - ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
【1日目】		【2日目】
1 “内部監査”とはどのようなものか “内部監査”の機能について - 内部監査員の役割と使命 「マネジメントシステム監査の指針(JIS Q 19011)」における定義 - 監査の原則を理解する 2 内部監査員に求められる力量とは 3 品質マネジメントシステム(QMS)と内部監査 - 品質マネジメントシステムとその国際規格 - 品質管理と品質保証について - 品質マネジメントの原則とは - 内部監査の目的は何か 4 QMS全体概要とPDCAサイクル - 規格全体概要の解説 - PDCAサイクルについて 5 内部監査員の視点から見たJIS Q 9001:2015規格要求事項の解説 - 内部監査員の視点で箇条4～箇条10を解説	◆ 確認テスト 6 演習 不適合の指摘 - ケーススタディによる不適合記述演習 7 内部監査の進め方と知っておくべき監査技法 - 各ステージにおける具体的内容…内部監査の計画・準備、実施、内部監査報告書の作成、指摘事項の処置とフォローアップ - 内部監査員が知っておくべき監査技法の解説 8 内部監査を円滑に進めるチェックリストの作り方 - よくありがちな“内部監査の課題”を理解する - 内部監査を円滑に進めるチェックリストの作り方 - チェックリストのメリットとデメリットを理解する - チェックリスト作成のコツ 9 演習 模擬監査の準備 10 演習 模擬監査(ロールプレイ)の実施 11 内部監査のまとめ - 是正要求報告書を作成するうえで重要なポイントとは 12 模擬監査(ロールプレイ)結果のまとめ - 自身で発見した「不適合事項」について、実際に“是正処置要求書”を作成する 13 修了試験 14 コースのまとめ、総括質疑応答、修了証授与	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

“改善提案できる” 内部監査員養成のための QMS／EMS内部監査員 スキルアップセミナー

開催日時	2026年 4月14日(火) オンライン	
	2026年 8月24日(月) 東京会場	
	2027年 1月12日(火) オンライン	各回とも 10:00～17:00

受講対象	・“内部監査の効果・意義”について課題・問題を抱えている組織のISO推進事務局、管理責任者、内部監査員、各部門推進担当者	
講師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師	
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。	

- ねらい
- 本来、ISOマネジメントシステムの内部監査は経営課題解決、業務課題・業務品質改善のために極めて効果的な活動です。しかし、実態は、“規格が要求しているから…”、“審査で確認されるから、認証維持のためには仕方ない…”といった、後ろ向きな姿勢で実施されている実態も見受けられます。このため、監査員自身の役割認識・力量も十分でなく、本来の効果が発揮されない“セレモニー的”活動にとどまっていられないでしょうか。
- 組織全体の内部監査の効果を高めるためには、「内部監査員の役割認識・力量向上」、「内部監査手順の有効性向上」、「被監査側の是正処置・改善スキル向上」の3つの要素が重要です。
- 本セミナーでは、「内部監査員の役割認識・力量向上」に焦点をあて、本来業務に関わる課題・問題解決に向けて、“改善提案ができる”内部監査員を養成することをねらいとしています。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 内部監査プロセスにおける内部監査員の役割 - 運用組織にありがちな内部監査の課題・問題 - 組織全体の内部監査の効果を高めるための3つの要素 2 本質と優先的改善ポイント(内部監査での着目ポイント) - 業務改善を確実に推進するための仕組み - 規格の構造と求めるもの - 運用組織に見られる優先改善ポイント - 内部監査では何を見るか “プロセスアプローチ型”、“原因系”内部監査で問題・課題発見力を高める 3 監査スキルの向上のために - 内部監査プロセスと監査員の力量要素	4 監査所見＝不適合／観察事項(改善の機会)の記述方法 “何を”、“どうすればよいか”が容易に理解できる記述 5 演習1 ケーススタディによる監査所見の記述 6 是正処置・改善策の評価のポイント 「修正」と「是正処置」の違い 「根本原因」、「有効な是正処置」を見極めるポイント - 管理レベルの向上につながる処置・対策 7 演習2 ケーススタディによる是正処置評価	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込・セミナー詳細は **JMA100443** 検索



申込・セミナー詳細は **JMA100442** 検索



～ロールプレイによる「演習」をメインとした～ プロの審査員が使っている“コーチング”による 「内部監査」のヒアリング術・ 習得セミナー

開催日時	2026年 6月19日(金) 東京会場 2026年 9月30日(水) 東京会場 2026年11月18日(水) 大阪会場 2027年 2月16日(火) 東京会場	各回とも 10:00～17:00
受講対象	・内部監査員 ・ISO管理責任者 ・ISO推進事務局 ・その他、実践的な「内部監査」の手法を学びたい方	
講 師	田中 辰幸氏 合同会社 FSマネジメント 社長	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

“コーチング”により、問題・課題について情報量を一番持っている「相手」の状況を「内部監査」の場で整理していき、「答え」を導くような質問の構成について、ポイントを学ぶ。

- ◆ 内部監査で「良い質問」ができるための着眼点を学びます。
- ◆ 内部監査におけるヒアリング術のポイントを学びます。
- ◆ 内部監査を相互の対話の場として捉え、活発化のための「コミュニケーション術」のポイントを学びます。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 内部監査の基礎知識 1) 内部監査の位置づけについて 2) 内部監査の構造を理解する 3) 柔軟性のある監査ストーリー 2 コーチングコミュニケーション “一緒に考える” 内部監査員のマインドを理解する 1) 良いコミュニケーションの条件とは 2) コーチングとは 3) 質問の流れ (GROW モデル) 4) 聴き方の違いによる話し手の影響 5) 相手が話しやすい5つのポイント 6) 聴いてもらうことの効果	3 内部監査のロールプレイ 指摘しっぱなしで終わらない! 効果的な是正処置を生み出す内部監査 1) 被監査側が自らの原因や解決策に気づくことをサポートする内部監査 2) 実践と振り返り	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

～QMS / EMS / 統合システム対応～ “改善提案型”監査実施のための 内部監査プロセス(実施方法) 改善セミナー

開催日時	2026年 6月 2日(火) オンライン 2027年 2月10日(水) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	ISO9001、ISO14001事務局・管理責任者の方々に ・内部監査を進めていくべきかわからない ・内部監査の結果をより有効なものにしたい ・内部監査自体の改善を図りたい	
講 師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 QMS/EMS主任講師	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい 『これまでの内部監査に効果が見えないのは、内部監査プロセス(内部監査手順)に問題があるからです!』

組織全体の内部監査を意義ある活動とするためには、下記3つの要素が重要です。
 (1)内部監査員の役割認識・力量向上、(2)内部監査手順の有効性向上、(3)被監査側の是正・改善スキル向上

中でも、「内部監査手順」は、他の2つの要素も向上させる要諦で、組織全体の内部監査の有効性を高めるためには、まず内部監査プロセス(実施方法)に着目し、「内部監査手順」の改善を図る必要があります。

「内部監査手順」(内部監査プロセス)の有効性を高め、結果として「内部監査員の役割認識・力量」向上、「被監査側の是正・改善スキル」向上を図って、“改善提案型”内部監査への変革を支援するセミナーとして開催いたします。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 現状の内部監査が こんな“症状”に陥っていませんか? ・内部監査に関する現状課題の認識 ・内部監査プロセス(実施方法)を改善して内部監査の効果を高める ・「監査員の力量」、「内部監査手順の有効性」、「被監査側の処置・改善スキル」は三位一体 2 現状の内部監査を振り返ってみる ・「内部監査手順の有効性/内部監査員の力量」の現状診断 ・内部監査員の役割・本質	3 内部監査プロセスにありがちな課題・問題とその“処方箋” ・内部監査の目的・役割・力量 ・“改善提案型”内部監査の「計画」と「実施」に必要なプロセス ・「改善提案(観察事項)」の扱いと継続的改善 ・是正処置の適切性、妥当性の評価方法 ・内部監査員養成方法の見直し ・内部監査の有効性、効率性を高める など	
4 内部監査プロセス改善のための具体策 ・モデル手順書を参考にした「内部監査手順書」の改訂 ・“プロセスアプローチ型”、“原因究明型”内部監査への移行		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



QMSパフォーマンス向上プログラム 効果的な是正処置対策と “問題解決技法” 実践セミナー

開催日時	2026年12月17日(木)	東京会場	10:00～17:00
受講対象	・管理責任者、内部監査員、ISO推進担当者、部門責任者・管理者		
講師	糸魚川 浩司 氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

目的	顧客との信頼関係に影響を及ぼすような品質問題や顧客クレーム、業務上改善を要するような問題まで、組織では様々な問題・課題が発生します。企業活動においては顕在化した問題には適切に是正を図り、潜在的な課題には予防処置をとらなければなりません。
	しかしながら、過去に是正処置した問題が再発したり、同様の問題が他の部署で発生するなど、是正処置や予防処置が機能しないのは何故でしょうか。
	本セミナーでは、QMS活動の重要な要素である“是正処置”及び“予防処置”に焦点をあて、どうすれば適切に“根本原因の分析・特定”ができるのか、適切に是正処置及び予防処置を図れるのか等、是正処置・予防処置を機能させるためのポイントを学ぶ。
ねらい	◆ 確実な是正のための(再発させないための)原因分析や原因特定の考え方や方法を身に付ける。 ◆ 確実な是正につなげるための、内部監査における発見事項や指摘事項の“適切な記述”を身に付ける。 ◆ 是正処置や予防処置をより機能させるための具体的な方法、継続的改善の進め方を学ぶ。

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 品質マネジメントシステムの目的と有効活用	- QMSの継続的改善・プロセスアプローチとは “品質マネジメントの原則”について 「改善する組織」をつくる。「改善」を実行する - 不適合と改善～内部監査での指摘について - 是正処置報告書の例 - 設計部門、製造部門、サービス部門でのアプローチの違い	3. 不適合の再発防止処置の必要性の評価とは 演習3		
		4. 起こってしまった問題・課題の原因を根絶する処置の決定及び実施を適切に行うために		
2 是正処置の活用方法	(1)品質マネジメントシステム上の“是正処置”とは (2)是正処置の目的は再発防止 (是正処置が修正で終わっていませんか) 演習1 ある審査員のひとり言「これは本当に是正処置?」 (3)有効な“是正処置”に必要な「問題解決技法」を学ぶ	5. 是正処置の有効性のレビューの方法		
	1. 起こっている問題・課題を的確に把握する 2. 「何が理由で起こっているのか」を的確に把握するための手法 演習2	6. 「スピード」ある是正と改善のために		
	・「なぜなぜ」分析 ・特性要因図 ・連関図 ・KJ法 ・更点管理(4M) など 不適合原因究明手法実践演習 ―「なぜなぜ分析」	3 QMSに品質リスクを考慮する ・QMSプロセスにおける様々なリスクを特定し、プロセスを管理する 演習4		
	4 “予防処置”の活用方法			
	5 まとめ&質疑応答			

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

すぐ使える 品質管理入門セミナー

～ISO9001の運用に役立て、わかりやすく実践的に学ぶ～

開催日時	2026年12月11日(金)	東京会場	10:00～17:00
受講対象	・ISO事務局配属の新入社員や新たに異動となった方 ・自部門での品質管理・保証(検査)業務に携わる方 ・自社の品質管理・品質保証の業務の流れを理解したい方 ・品質管理・品質保証の実践力を高めたい方、問題解決力を高めたい方 ・社内で品質管理・品質保証に関する人材育成を目指す方		
講師	糸魚川 浩司 氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

特長	◆ QCからISOまで実践力となる基本を学ぶとともに、実際に現場・職場で日常起こる問題の最適な解決方法となる品質管理手法を習得します。 ◆ 個人・グループ演習を通じた体験学習ができます。 ◆ QC7つ道具をはじめ現場・職場で効果的に使用できる手法(検定推定・相関回帰分析・抜取検査等)について演習や事例を交えて学習します。 ◆ 現場・職場の第一線で活躍される方々が全体を俯瞰して理解できるよう、仕事の上流から下流段階までの品質管理・品質保証について体系的に学びます。
----	--

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 品質管理・品質保証の基本	- 品質管理 - 品質保証の概要 - 品質管理活動の実践 - 設計、製造、サービス品質管理のアプローチの違い	4 設計、製造、サービス品質管理の アプローチとケーススタディ		
		- 設計、製造、サービス品質管理の目的とアプローチ - 設計品質管理ケーススタディ - 製造品質管理ケーススタディ - サービス品質管理ケーススタディ		
2 ISO9001:2015「9.パフォーマンス評価」のポイント		5 統計的データ解析の基礎 (検定推定・相関回帰分析・抜取検査等) 演習		
3 QC7つ道具の解説とQMSへの具体的な取り込み方 演習	QC7つ道具(・特性要因図 ・パレート図 ・グラフ ・管理図 ・チェックシート ・散布図 ・層別 ・ヒストグラム)をうまく使うツボとコツ	6 ISO9001/QMSの継続的改善に繋がる 品質管理とは		
		7 まとめ、Q&A		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

QMSパフォーマンス改善のための データと情報の分析・評価 実習セミナー

開催日時	2026年12月10日(木)	東京会場	10:00～17:00
受講対象	ISO9001 認証取得済および受審準備中企業・組織の ・管理責任者、事務局 ・ISO統括部門 ・品質保証担当部門 ・ISO管理・活用中の現場管理者・リーダー		
講師	糸魚川 浩司氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

ねらい

- ◆ 品質マネジメント (QMS) を更に役立てる、効果的な是正処置及び問題解決の手法や考え方。
- ◆ QMSにおける顧客満足調査／製品要求事項等の経営直結データの分析のポイント。
- ◆ 実務で使えるデータ分析と評価のポイント。

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 ISO9001のマネジメントシステムの概要	5 データ分析・評価の事例解説 ー供給者・購買先評価			
2 QMSにおける データと情報の分析・評価の重要性	6 データ分析・評価の演習(1)：顧客満足度			
3 データとは何か・調査の進め方	7 データ分析・評価の演習(2)： 製品要求事項への適合性			
4 データの分析手法にはどのようなものがあるか ・層別 ・パレート図 ・グラフ ・特性要因図 ・チェックシート ・相関係数 ・CSポートフォリオ ・PDPC法 ほか	8 データ分析・評価の演習(3)： リスク対応・未然防止の機会			
	9 まとめ&質疑応答			

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

品質目標・設定見直しセミナー

開催日時	2026年12月18日(金)	東京会場	10:00～17:00
受講対象	・管理責任者・部門責任者・ISO推進担当者 ・その他目標設定・進捗管理に携わる方々		
講師	糸魚川 浩司氏 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

ねらい

品質目標の設定は経営目的に合致していること、自社を取り巻く経営環境を加味したものであること、短期・中長期の視点で考えることなど、QMSの実効性を高める要点を解説。

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 組織の目的を達成するための品質目標	5 達成度を判定可能とするための 目標設定の工夫			
2 ISO9001における 品質目標の位置づけと機能	6 効果的な“実行計画”作成のポイント			
3 目標の種類(区分)と 品質目標の設定に必要な視点	7 実績評価とフォローアップ、 次年度へのフィードバックの仕方			
4 品質目標設定の具体的ポイント				

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

～ISO9001プロセスアプローチによる不正防止～ “品質コンプライアンスの 進め方” セミナー

開催日時	2026年 7月 8日(水) オンライン 2027年 2月 3日(水) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	- 経営幹部 - 品質保証部・コンプライアンス関連部門 - 工場・事業所の責任者・実務担当者	
講師	小林 久貴氏 株式会社小林経営研究所 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

企業の品質データ改ざん、不正検査結果の報告等は、なかなかなくなる大きな問題です。それらが行われていた場合、原因を徹底的に究明し、再発防止策を講じなければならないのは当然ですが、そもそもそのような問題を未然に防ぐことできないのでしょうか？

「ISO9001(品質マネジメントシステム)のプロセスアプローチの考え方」は、その解決策の一つとされています。本セミナーは、品質コンプライアンスを徹底するために、ISO9001をいかにツールとして活用するか、を考えていただくことを目的に開催いたします。

※品質コンプライアンスとは……「品質」において、社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行すること、また、顧客の指示や要求に応じ、果たすべき務めを果たすこと、を意味します。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:30～13:30
◆ ガイダンス		
1 品質コンプライアンス違反を引き起こす4つのオーバー (4over)		
2 品質コンプライアンス違反を止められない3つのバッド (3bad)		
3 4オーバー・3バッドへの対応方法 事例研究(演習)		
4 品質マネジメントシステムへの展開		
	5 プロセスアプローチの考え方	
	6 品質コンプライアンスリスク分析	
	7 品質コンプライアンスにおけるプロセスアプローチの活用	
	8 プロセスアプローチ監査の有効活用 事例研究(演習)	
	◆ 質疑応答	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

～品質不正を防ぐための経営者・管理者の役割とは～ 事例で学ぶ 品質コンプライアンス

開催日時	2026年 5月21日(木) オンライン 2026年12月 7日(月) オンライン	各回とも 14:00～17:00
受講対象	- 経営幹部 - 品質保証部・コンプライアンス関連部門 (総務部・法務部・監査室)の責任者 - 工場・事業所の責任者	
講師	小林 久貴氏 株式会社小林経営研究所 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:35,200円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:35,200円/1名 上記会員外:38,500円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

品質コンプライアンスについて、違反のメカニズムを考え、発生源を断つためにはどうすればよいかを事例を通して考える。

■ プログラム		14:00～17:00
1 品質コンプライアンスとは		
- 品質コンプライアンスの特徴 - 品質コンプライアンス違反の分類 - 品質コンプライアンス違反のケースごとに対応方法	4つのオーバー・3つのバッドへの対応方法 事例研究 品質コンプライアンス違反を誘発する言動例 4つのオーバー・3つのバッドをなくすために必要な経営者・管理者の役割	
2 品質コンプライアンス違反発生メカニズム		
- 品質コンプライアンス違反を引き起こす要因と止められない理由 - 品質コンプライアンス違反を引き起こす4つのオーバー 事例研究 化学品メーカーA社の例 - 品質コンプライアンス違反を止められない3つのバッド 事例研究 素材メーカーB社の例	3 品質不正調査報告書から学ぶ - 想定される4つのオーバーと3つのバッド - 経営者・管理者として何をすべきであったのか	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ISO9001 管理責任者セミナー

～経営・事業・ISOの一体化へ 経営者が果たすべき役割とは～ ISO9001 経営者・幹部実務セミナー

開催日時 **2027年 3月 9日(火)** **オンライン** 14:00～17:00

受講対象

- ・管理責任者に新たに任命される方
- ・管理責任者の経験を有して、さらにレベルアップを目指す方
- ・認証取得／維持に関わる社内事務局の方

講師 **宮澤 武氏**
一般社団法人日本能率協会
QMS/EMS主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員: 37,400円/1名
JMAでISO審査を受けている企業: 37,400円/1名
上記会員外: 41,800円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

ISO9001における管理責任者は、品質マネジメントシステム(QMS)を経営に結びつけるキーパーソン。マネジメントレビュー・リスクベース思考・改善推進など、QMSの実効性ある運用のための勘所を解説。

■ プログラム 14:00～17:00

1 管理責任者に求められる役割と責任

- ・経営層・社内・審査員との間での立ち位置

2 ISO9001の最新動向と 経営管理ツールとしての活用

- ・審査で問われる「経営成果への貢献」

3 方針・目標管理の実効性を高める

- ・経営方針の展開と品質目標設定のポイント

4 内部監査の有効活用

- ・リスク及び機会思考と内部監査の活用ポイント

5 マネジメントレビューの効果的な進め方

- ・情報収集のポイント、改善課題設定、トップ報告の工夫

6 不適合・是正処置のマネジメント強化

- ・真因分析、再発防止策、水平展開のポイント

7 まとめ —QMSを経営に生かす管理責任者の視点

- ・「審査対応」から「経営ツール」への転換のために

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時 **2026年11月25日(水)** **オンライン** 13:30～17:00

受講対象

- ・ISO9001認証取得組織の経営層、管理責任者の方々

講師 **小林 久貴氏**
株式会社小林経営研究所 代表取締役

参加料(税込) 日本能率協会法人会員: 37,400円/1名
JMAでISO審査を受けている企業: 37,400円/1名
上記会員外: 41,800円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

国内でISO規格に基づく第三者認証制度が始まってから30年以上が経過し、コロナ禍を過ぎ、従来にも増して、経営とマネジメントシステムの間を問う企業が増えております。

本セミナーは、ISO9001認証取得組織の経営層、管理責任者の方々が果たすべき役割を、短時間で把握していただくとともに、経営と直結した、実効性のある品質マネジメントシステム運用の端緒としていただくことを目的に開催いたします。

■ プログラム 13:30～17:00

1 何のために品質マネジメントシステム(QMS)を やっているのか?

2 経営者が知っておくべき 品質マネジメントの原則

3 経営者が押さえるべき ISO9001改訂のねらいとポイント

4 経営に役立つ品質マネジメントシステムを どのように構築するか?

- (1) 現状把握
- (2) 顧客の明確化
- (3) 顧客のニーズ・期待の明確化
- (4) リスクと機会の明確化
- (5) 品質方針の展開を見直す
- (6) プロセスの管理方法の決定
- (7) QMSを改善するための仕組みの決定

5 事例で考える経営者がやるべきこと

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



自動車産業品質マネジメント規格 IATF16949対応 QMS内部監査員養成コース

開催日時	2026年 8月 3日(月) オンライン 2026年10月 9日(金) 東京会場 2027年 2月24日(水) 東京会場	各回とも 10:00~17:00
受講対象	・IATF16949内部監査員候補の方々 ・各部門の管理者・責任者・リーダー ・IATF16949社内推進事務局責任者・リーダー	
講師	小林 久貴氏 株式会社小林経営研究所 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

- ねらい**
- ◆ IATF16949内部監査の3つの要求事項(「QMS監査」、「製造工程監査」、「製品監査」)のうち、「QMS監査」の監査員を養成する。
 - ◆ IATF16949内部監査員に必要な監査スキルや監査ポイントが学べる。
 - ◆ 内部監査をより有効に機能させることを目的に、内部監査員の力量を引き上げられる。
 - ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

■ プログラム		10:00~17:00 [昼休み] 12:30~13:30
◆ ガイダンス 1 IATF16949が求めるQMS内部監査員の力量 2 自動車産業プロセスアプローチとは 3 IATF16949が求めるリスクに基づく考え方 4 プロセスアプローチ監査とは 5 内部監査の基本 6 内部監査の準備	7 内部監査の実施 8 内部監査の報告 9 内部監査の是正処置 10 コアツールと監査のポイント 11 IATF16949が要求する第三者監査 12 理解度テスト 13 フィードバック ◆ 質疑応答(まとめ)	演習1 監査ストーリー演習 演習2 監査質疑問演習 演習3 プロセス監査レビュー演習 演習4 プロセス監査観察演習 演習5 プロセス監査報告演習 演習6 監査証拠収集・監査所見演習 演習7 コアツール監査演習

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

自動車産業品質マネジメント規格 IATF16949 理解促進コース

開催日時	2026年 6月11日(木)~12日(金) オンライン 2026年 7月23日(木)~24日(金) オンライン 2026年10月 6日(火)~ 7日(水) 東京会場 2026年11月11日(水)~12日(木) オンライン 2027年 2月16日(火)~17日(水) オンライン	各回とも 10:00~17:00												
受講対象	・IATF16949事務局、推進担当者、管理責任者 ・自動車部品や自動車関連機器メーカーに勤める管理者及び実務担当者													
講師	小林 久貴氏 株式会社小林経営研究所 代表取締役	参加料(税込) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>[2日間連続参加]</th><th>[1日目または2日目のみの1日参加]</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本能率協会法人会員</td><td>79,200円/1名</td><td>41,800円/1名</td></tr> <tr> <td>JMAでISO審査を受けている企業</td><td>79,200円/1名</td><td>41,800円/1名</td></tr> <tr> <td>上記会員外</td><td>91,300円/1名</td><td>47,300円/1名</td></tr> </tbody> </table> ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		[2日間連続参加]	[1日目または2日目のみの1日参加]	日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名	JMAでISO審査を受けている企業	79,200円/1名	41,800円/1名	上記会員外	91,300円/1名	47,300円/1名
	[2日間連続参加]	[1日目または2日目のみの1日参加]												
日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名												
JMAでISO審査を受けている企業	79,200円/1名	41,800円/1名												
上記会員外	91,300円/1名	47,300円/1名												

- ねらい**
- IATF16949規格要求事項の各条項のポイントと16949のコアツール(中核技法)と呼ばれるAPQP、PPAP、FMEA、SPC、MSAの5つについて解説する。

■ プログラム		10:00~17:00 [昼休み] 12:30~13:30
[1日目] 規格解説編	[2日目] コアツール解説編	
◆ ガイダンス 1 IATF16949の概要と特徴 2 IATF16949要求事項の適用 3 IATF16949要求事項の理解 4. 組織の状況 5. リーダーシップ 6. 計画 7. 支援 8. 運用 9. パフォーマンス評価(意図及び要求事項について解説) 10. 改善(意図及び要求事項について解説) ◆ 文書化したプロセス ◆ 理解度確認テスト ◆ 質疑応答	◆ ガイダンス 1 コアツールとは 2 APQPの概要 3 APQP理解演習 4 PPAPの概要/理解演習 5 FMEAの概要 6 FMEA故障モード・影響抽出演習 7 FMEA実施演習 8 SPCの概要 9 管理図理解演習 10 MSAの概要 11 %GRR演習 ◆ 理解度確認テスト ◆ ガイダンス	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



電気・電子機器技術者のための 品質技術作り込み基礎セミナー

開催日時	2026年10月30日(金)	東京会場	
	2027年1月27日(水)	東京会場	各回とも 10:00~17:00
受講対象	- 品質保証・設計・開発に携わる技術者 - 開発・設計部門・生産技術部門・品質保証・管理部門のスタッフ		
講師	渡部 利範 氏 株式会社テクノクオリティー 技術顧問 35年以上にわたり電子部品の信頼性と製品安全を専門とする。コピア株式会社にて複写機の電気回路設計・安全規格に従事した後、キヤノン株式会社 品質本部 製品安全技術部に事務機・医療機器・半導体製造装置などの製品安全性・信頼性に携わる。世界18カ国36都市の電源品質実態測定、安全重要部品の技術開発と基準策定、PL対応のグローバル展開などを主導。 2007年に独立し、株式会社テクノクオリティーを設立。技術コンサルタント、日本能率協会セミナー講師、高度ポリテクセンター講師として活動。経済産業省 製品安全対策優良企業表彰 審査員を2009年から2023年まで歴任。2024年にテクノアカデミーを開講し、技術者教育に注力している。		

ねらい 製品の高度化・複雑化が進む現在、品質問題の多くは、下流工程での検査強化ではなく、**上流の開発・設計段階における「品質の作り込み不足」**に起因しています。

その背景には、設計思想・判断基準・技術的理解の不足があり、結果として手戻りや品質事故が発生しています。多くの組織では、依然として「問題が起きてから動く」事後対応型の文化が根強く残っています。しかし、品質事故の根本原因を断つためには、不具合を未然に防ぐための品質技術力を身につける必要となってきます。本セミナーでは、品質保証・設計・開発に携わる技術者が、

「不具合を減らす」ではなく

「不具合が生まれないように設計(開発)する(フロントローディング)」

という本来あるべき品質作り込みの姿へ進化するための基礎技術を、体系的に習得することを目的としています。参加者の皆さまが、明日からの設計判断に自信を持ち、品質問題の「未然防止」を実現できる技術者へとステップアップする場となることを目指します。

■ プログラム		10:00~17:00	【昼休み】 12:30~13:30
1 なぜ“作り込み”なのか/品質技術と品質管理の違い - 開催目的 - 品質技術と品質管理の違いの説明 - 最近のNITE事故事例（品質技術の作り込み失敗事例）			
2 信頼性の理解 - JIS Z8115 信頼度 - MTBF/MTTF - ワイブル分布 - 初期故障・偶発故障・摩耗故障 - 事故事例で具体的な説明			
3 故障物理と故障モード (作り込みの中核) - マイグレーション - ウイスカ - はんだクラック - 絶縁劣化 - 酸化 - 熱疲労			
4 良品解析と故障解析 - 良品解析の目的・方法・事例 - 故障解析の方法・事例			
5 加速試験とディレーティング設計 - アレニウス則 - コフィン・マンソン則 - アイリング則 - ストレス強化モデル - 電気・電子部品のディレーティング設計			
6-1 事故事例の現象を読み解く 現象/故障メカニズム/設計対策判断の3段階で読み解く			
6-2 事例で技術を引き継ぐ NITE事例、講師の実体験事例を題材に、技術・知見を引き継ぐための実践を行う			
6-3 到達点：未然防止できる技術者へ/設計判断基準への落とし込み 故障現象から設計対策を考案			

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

～先行企業実践事例に基づく～ 生成AIによる 品質業務効率化・実務改善セミナー

開催日時	2026年11月19日(木)	オンライン	各回とも	開催形式	オンライン開催 (Zoom)
	2027年2月5日(金)	オンライン	10:00~17:00		
受講対象	- 品質保証・品質管理部門の責任者・担当者 - 生産技術・製造部門で品質改善を担当する技術者 - 品質データ分析・不具合解析を担当する技術者 - 経営層・部門責任者（導入判断者）も参加可能 - 開発部門の品質関連業務に従事する技術者／リーダー - DX推進・AI導入を検討している企画部門／IT部門 - 品質監査担当者				
講師	高安 篤史 氏 合同会社コンサルンス 代表 早稲田大学理工学部工業経営学科（プラントエンジニアリング/工場計画専攻）卒業後、大手電機メーカーで20年以上に渡って組込みソフトウェア開発に携わり、プロジェクトマネージャ/ファームウェア開発部長を歴任する。DFSS (Design for Six Sigma:シックスシグマ設計) に代表される信頼性管理技術/プロジェクトマネジメントやIoT / RPAやDXのビジネスモデル構築に関するコンサルタントとしての実績。及び 自身の経験から「真に現場で活躍できる人材」の育成に大きなこだわりを持ち、その実践的な手法は各方面より高い評価を得ている。2012年8月 合同会社コンサルンスの代表に就任。 ・中小企業診断士（経済産業大臣登録）：神奈川県中小企業診断協会 所属 ・情報処理技術者（プロジェクトマネージャ、応用情報技術者、セキュリティマネジメント） ・「TEEC-クラス2」グレードA ・JDLA Deep Learning for GENERAL 2019#3 ・IPA（情報処理推進機構）SECの「ESMR/ESMGのトレーナー養成」コース修了 ・IoT検定制度委員会メンバー(委員会主査)				
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：55,000円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：55,000円/1名 上記会員外：66,000円/1名 ※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。				

ねらい 品質保証・品質管理領域における生成AI/AIエージェント活用の最新動向を踏まえ、業務効率化と品質向上を同時に実現するための実践セミナーです。

本セミナーでは、「**品質業務のAI化**」を用いて、①品質戦略・品質企画、②品質戦略・品質企画(設計)、③品質技術(プロセス品質設計)、④品質管理(製造・出荷)、⑤品質保証(全体・出荷後)の5区分ごとにAI活用領域を俯瞰し、先行企業の豊富な活用事例から効果や適用条件を体系的に学びます。

さらに、機密情報漏洩・誤情報生成(ハルシネーション)・バイアス等のリスクを踏まえた安全な運用方法、現場で即活用できるプロンプト設計および運用テンプレートを習得します。品質レポート作成(品質リスク評価)・要件定義・設計レビュー・試作評価・工程管理・出荷判定・クレーム対応などの実務を題材に、AIを用いた業務改善を実践し、自社への適用イメージを具体化します。また、講師のデモに加え、参加者自身によるプロンプト作成にて、品質業務への適用演習を実施していただきます。講師は、AIによる実務導入支援で実績のあるコンサルタントが担当します。

■ プログラム		10:00~17:00	【昼休み】 12:00~13:00
1 生成AI/AIエージェントと品質業務の全体像 - 生成AI/AIエージェントの基本(用語・仕組み) - 品質業務における適用領域(開発～品質保証～生産の俯瞰) - AI活用の価値(効率化×品質向上の両立) - AIの品質評価方法(信頼性・保守性・説明可能性) - 人とAIの役割分担(責任と判断の所在、AI自律化の震) - 説明可能性(XAI)と監査対応の考え方(含むAIに対する監査) - AIエージェント導入による品質業務変革(従来→将来像)			
2 AI×AIによる品質業務の実行プロセス [2-1] 全体プロセス(標準フロー) - 組織の既存データ活用(RAG) - 組織の既存データを学習したAIによる業務実施 - 人(担当者)によるチェック&補完(人材育成も兼ねる) - AIによる検証(過去の品質問題、品質保証/ノウハウの活用) - 人(管理者)による最終判断(QCDバランス、過剰品質の防止) - AIによるリアルタイム監視(抜け漏れ・手戻り・プロセス遵守の担保) - ナレッジ蓄積(組織の既存データへ)			
[2-2] ①品質戦略・品質企画での活用 - 市場調査・顧客要求分析・QFD - 品質KPI/品質コスト設計：不良率やクレーム率などのKPI設計、COQの算定支援 - 品質方針・品質目標の策定と新製品の品質目標設定 - 設計レビューへの参画			
[2-3] ②品質戦略・品質企画(設計)におけるAI活用 - 要求仕様レビュー：要求整理・矛盾検出・非機能要件の抜け検出 - 設計レビュー・FMEA・DRBFM：デザインレビューおよび故障モード影響解析によるリスク抽出と対策検討、変更影響分析 - 信頼性設計と試作評価・検証計画：寿命予測や環境条件を考慮し、標準化された試作評価計画を生成 - 設計不具合リスク抽出とCAD/CAM/CAE支援：類似不具合展開、モデル生成、最適化 【講師デモ】要件定義～設計レビュー・FMEA～不具合分析までの一連の実演			
[2-4] ③品質技術(プロセス品質設計)におけるAI活用 - 工程設計(工程フロー設計)と工程FMEA(PFMEA)の実施 - 管理計画(Control Plan)の作成 - 検査仕様・検査基準の設計と検査装置・測定機の選定・導入 - 工程能力(Cp/Cpk)の評価			
[2-5] ④品質管理(製造・出荷)におけるAI活用 - 受入検査・工程内検査・出荷検査：物理検査支援および画像検査による自動判定 - SPC・工程能力解析：統計的品質管理によるリアルタイム監視と異常検知 5M管理：作業条件・設備・材料情報の分析と最適化 - 不良品検知・原因特定：画像解析や相関分析による不良品の分類と原因推定、QC7つ道具支援 - サプライヤー品質管理：現場改善活動/サプライヤー評価やIE/5S活動、現場改善提案の支援 - 現場改善活動(QCサークル、IE、5S等)			
[2-6] ⑤品質保証(全体・出荷後)におけるAI活用 - 出荷判定・リスク評価：出荷可否を定量化しリスクを判断 - 監査支援：内部監査・外部監査・ISO/IATF等規格運用のチェックリスト生成 - トレーサビリティ管理と品質文書管理：品質記録・履歴の一元管理と検索 - 顧客要求適合性確認：クレーム対応：自動照合とFAQ対応 - 不具合解析：なぜなぜ分析・是正/再発防止策の提案 - ナレッジ蓄積と品質情報の社内フィードバック・人材教育			
3 品質業務への生成AI/AIエージェント活用のリスクと統制 - 機密情報の漏洩リスク(入力情報・参照情報・出力情報) - ハルシネーション(誤情報)とその影響(AI検査の落とし穴) - バイアス・倫理・公平性・著作権(学習データ、AIモデル、成果物)・契約・法規制 - プロンプトインジェクション等の攻撃 - AI判断の過信とヒューマンレビューの必要性 - 品質保証における責任の所在(説明責任) - 運用ガイドライン(禁止事項・承認フロー・監査)			
4 リスクを抑えた実践技術(プロンプト+運用) [4-1] 品質業務のプロンプト設計 - プロンプトの構造(役割・指示・文脈・制約) - 良いプロンプトの条件(具体性・分解・検証性) - 出力品質向上(段階的指示、例示、制約条件の付与) - NGプロンプト事例(曖昧・過大要求・根拠不明) - 品質業務プロセスのプロンプトへの組み込み			
[4-2] 品質業務向けプロンプトテンプレート - レビュー指摘テンプレート - 品質リスク生成テンプレート - 不具合分析(なぜなぜ分析)テンプレート			
[4-3] リスク回避テクニック - ハルシネーション抑制方法(網羅調査・不確実性の明示・ルールベース併用) - 根拠提示と出典要求の方法 - 複数AIモデルによるクロス検証			
【実践演習】 参加者が品質業務に関するプロンプトを作成し(例：不具合報告書作成)、成果の改善を確認(参加者自身が生成AI/AIエージェントなどを動作させることができる環境準備を推奨：どのツールでも可能)			

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



環境・サステナビリティの 超入門セミナー

～ 環境・サステナビリティ部門に配属された方に必須セミナー ～

開催日時 **2026年 9月 4日(金)** **オンライン**
2027年 2月15日(月) **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

受講対象

- ・環境・サステナビリティ部門に配属された方
- ・環境推進部門・CSR部門の担当者

講師 **中川 優氏**
株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長
一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名
上記会員外:47,300円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい ESGやサステナビリティという言葉は知っていても「自分の業務とどう関係するのか」と問われると、自信がない方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、ESG・SDGs・サステナビリティの基本的な意味と背景、企業経営や日常業務とのつながりを整理し、「自分事として理解し、自分の言葉で説明できる」レベルをめざします。

特長 指導経験が豊富な中川講師による“超入門”セミナー
【附録】2026年改訂を踏まえた「環境マニュアル案」(pdf) をご提供

■ プログラム 10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00

1 環境・サステナビリティの全体像を掴む

2 初めてでも分かる「基本用語」の徹底解説

3 環境・サステナビリティの最新動向

- ・日本の状況
- ・海外の状況

4 テーマ別/業界別の 関連用語の背景や関連について

- ①国際規格(例:ISO14001、26000等)
- ②環境目的(例:SBT、GC等)
- ③情報開示(例:SSBJ、SASB、GRI、TCFD等)
- ④購買・運用(例:RE100、FSC、RSPO等)
- ⑤サプライチェーン(Eco Vadis、RBA等)

5 企業事例

6 グループ討議 (環境・サステナビリティ部門の要員に求め られる力量)

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ISO14001 「環境マニュアル」 改訂セミナー

開催日時 **2026年 7月10日(金)** **オンライン**
2026年11月10日(火) **オンライン**
2027年 1月21日(木) **オンライン** 各回とも 13:30～16:30

受講対象

- ・ISO14001事務局・管理責任者

講師 **中川 優氏**
株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長
一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員:35,200円/1名
JMAでISO審査を受けている企業:35,200円/1名
上記会員外:38,500円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい ISO14001の改訂が2026年に予定されています。
これを機に、環境マネジメントシステムの文書の改訂を提案いたします。

■ プログラム 13:30～16:30

1 ISO14001改定の概要

2 2026年改訂を踏まえた「環境マニュアル案」の解説

3 「EMS文書」の改訂ポイント

※ご参加特典【附録】
2026年改訂を踏まえた「環境マニュアル案」(pdf) をご提供

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。





マネジメントスクール

～ “攻め” の環境側面で環境目標や内部監査が見違える ～

ESG・SDGs時代の 環境側面の洗い出しと 環境影響評価の実践セミナー

開催日時	2026年 9月 3日(木)	オンライン	13:30～16:30
受講対象	・ISO14001事務局・管理責任者 ・環境推進・サステナビリティ・CSR部門の担当者		
講師	中川 優氏 株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員:35,200円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:35,200円/1名 上記会員外:38,500円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

- ねらい
- ISO14001の実務は事業活動の実態と合っていますか？
このようなことはありませんか？
- ・環境によい活動を行っているのに「プラスの環境側面」が出ていない
 - ・公害防止の観点からISO14001を運用しているが実務が反映されていない
 - ・内部監査で改善の目線で環境側面を確認できていない
 - ・社内では継続的改善が重要とは言いが「是正処置」止まりだ

■ プログラム

13:30～16:30

1 ESG・SDGsとISO14001の関係を正確に理解する

2 14001の2026年改訂で予測される「環境側面」の見直し

3 ESG・SDGs時代に求められる“攻め”の環境側面とは

4 環境側面の洗い出しと環境影響評価の具体的な進め方

5 環境側面が変わると目標設定や内部監査の進め方が変わる

※ご参加特典【附録】

ESG/SDGsに対応した「環境影響評価様式」(エクセルデータ)をご提供

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



マネジメントスクール

基礎から学ぶ ISO14001規格解説セミナー

～ 2026年改訂対応 ～

開催日時	2026年 5月11日(月)	東京会場	
	2026年11月20日(金)	東京会場	各回とも 10:00～17:00
受講対象	・新任ISO14001事務局・新任管理責任者 ・ISO14001を基礎から学びたい方		
	・新任ISO14001社内推進メンバー ・ISO14001内部監査員(候補)の方		
講師	中川 優氏 株式会社オフィスグラビティー 代表取締役社長 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師		
参加料(税込)	日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。		

- ねらい
- ～2026年改訂対応～
- ◆ ISO14001入門、基礎知識習得のためのプログラム。
 - ◆ 経営に不可欠となった“環境”についてISO14001を理解し、有効な活用の仕方を学ぶ。
 - ◆ 主要な法律をとりあげ、環境法関連法規制の概要を解説する。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00

1 ISO14001:2026の超基礎

2 意識で学ぶISO14001:2026規格解説

3 ISO14001:2026年版の理解を深める

4 質疑応答

・ISO14001は「環境側面」を管理する規格
・一番の核である「プロセス」を理解する

グループ討議

・環境を巡る最新の話題
・ISO14001 規格改訂の背景
・規格改訂の重要ポイント
・重要な「附属書」の読み方

・規格要求事項を意識で学ぶ

- ・4. 組織の状況
- ・5. リーダーシップ
- ・6. 計画策定
 - ※追加要求事項の「6.3変更の計画策」をどう解釈するか
 - ※「文書化した情報」の“利用可能な状態”とは？
- ・7. 支援
- ・8. 運用
- ・9. パフォーマンス評価
- ・10. 改善

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

【新任管理責任者・事務局・推進者のための 「ISO14001理解促進シリーズ」】 ISO14001 新任事務局セミナー

開催日時	2026年 6月18日(木) オンライン 2026年 9月 2日(水) オンライン 各回とも 10:00~17:00
受講対象	・新任ISO14001事務局・新任管理責任者 ・これからISO14001認証取得をする企業のISO推進者・管理責任者
講師	宮澤 武氏 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

- ねらい
- ◆ ISO新任事務局に求められる役割、行動について学ぶ。
 - ◆ ISO事務局として押さえておきたい、EMSの活用方法について学ぶ。
 - ◆ ISOの専門用語や規格の概要、審査制度に関する知識について学ぶ。

■ プログラム 10:00~17:00 [昼休み] 12:00~13:00	
1 ISO14001事務局およびISO14001管理責任者の役割とは ・事務局・担当者とは - その位置付け ・EMSの運営体制づくり ・年間計画の策定	4 EMSの課題と現状分析、改善について ・EMSで陥りがちな“症状” ・EMS運用実態 ・主要な課題
2 第三者認証登録制度と審査機関との上手な付き合い方 ・ISO14001認証とは ・ISO14001審査までの過程 ・ISO14001審査までに何をすべきか ・審査における「不適合」や「観察事項」とその対応 ・継続的改善に「審査」をどのように活かすか	5 EMSを効果的に運用するポイント ・EMS改善のための優先事項 ・EMS改善の進め方 ・改善の着眼点 ①EMS改善のためのマネジメントレビュー ②是正処置のすすめ方 ③内部監査を有効なものにするには ④環境側面特定・目標設定プロセスの見直し ⑤法規制順守体制の強化
3 ISO14001事務局が知っておくべき知識 ・環境マネジメントシステムは“経営管理ツール” ・ISO14001の役割 ・環境マネジメントシステムのねらい(序文より)	6 まとめ&質疑応答

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ISO14001 内部監査員養成コース

開催日時	2026年 6月 4日(木)~ 5日(金) オンライン 2026年10月29日(木)~30日(金) 東京会場 2026年12月21日(月)~22日(火) オンライン 2027年 1月28日(木)~29日(金) 東京会場 各回とも 10:00~17:00
受講対象	・ISO14001内部監査員候補の方々 ・社内ISO14001推進事務局・責任者・リーダー ・環境推進部門・CSR部門の担当者
講師	中川 優氏 株式会社オフィスグラビティ 代表取締役社長 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：90,200円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：90,200円/1名 上記会員外：101,200円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

- ねらい
- ～環境マネジメントシステム(EMS)の内部監査員に必要な“基礎知識”と“監査技術”を習得できる～
 - ◆ 環境マネジメントシステムの概要・目的と、監査基準の“ISO14001規格”をレビューできる。
 - ◆ “内部監査＝不適合探し”ではないことを習得できる。
 - ◆ ケーススタディによる模擬監査を通じて、監査の手順、ポイントを学べる。
 - ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

■ プログラム 10:00~17:00 [昼休み] 12:00~13:00	
[1日目]	[2日目]
1 環境ISOの基礎 ・SDGs、ESG投資、気候変動とISO ・ISO基本(マネジメント、標準化と測定)	1 環境法規制の基礎 ・環境法規制の最新動向 ・環境法規制体系と廃棄物処理法
2 ISO14001全体像の把握 ・箇条4.組織の状況～箇条10.改善 ・SDGsと140001との関係	2 ISO14001徹底解説(改善編) ・箇条9.パフォーマンス評価～10.改善
3 内部監査の基礎(ISO19011) ・内部監査員の役割 ・内部監査の種類と進め方	3 内部監査スキルの基礎 ・効果的な内部監査スキル ・指摘事項の書き方のセオリー など
4 ISO14001徹底解説(計画・運用編) ・監査員としての実務的な読み方 ・箇条6.計画～箇条8.運用 ※途中ショート演習を織り交ぜます	4 演習 ケースによるロールプレイ ・個人演習及びグループ演習 ・ロールプレイ ・発表・フィードバック
5 内部監査チェックリストの作り方・使い方 ・サンプリング・ヒアリングの秘訣 など	5 全体の振り返り(質疑応答)
6 演習 プロセス視点のチェックリスト作成	6 理解度確認テスト
	■ 修了書授与

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



「環境法規制」セミナー

労働安全衛生法 規制セミナー

～ 1日で学ぶ ～

開催日時	2026年 5月19日(火) オンライン	2026年11月18日(水) オンライン
	2026年 7月17日(金) オンライン	2027年 2月 9日(火) オンライン
	2026年 9月29日(火) オンライン	
	各回とも 10:00～17:00	

受講対象	・ISO14001事務局の方、環境・CSR推進部門 ・コンプライアンス部門、総務部・管理部門、内部統制担当部門、経営監査担当部門の方 ・ISO14001環境マネジメントシステム審査員の方	
講師	馬目 詩乃氏 合同会社岳峪社 代表	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい	最新の環境法規制の概要と自社に適用される環境法規制の特定方法がわかる。 ◆ 企業経営と環境法のかかわりを理解する ◆ 環境法の基礎的事項を理解する ◆ 個別の環境法のポイントを理解する
-----	---

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 はじめに		(1) 企業経営と環境法令 (2) 環境法の基礎知識	・環境法違反はどのような経営リスクにつながるか ・「環境法」とはどのようなものか ・環境法にみられる規制のパターンとポイント	
2 各法律の解説		1: 一般的事項 2: 気候変動対策・省エネルギー・フロンに関する法 3: 化学物質・安全衛生・危険物に関する法 4: 循環型社会に関する法 5: 公害対策に関する法 6: 大気汚染防止に関する法 7: 水質汚濁防止に関する法 8: 土壌汚染対策 9: 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に関する法 10: 生物多様性に関する法 11: サプライチェーンに関する法律	・環境基本法 ・地球温暖化対策推進法 ・化学物質審査規制法 ・循環型社会形成推進基本法 ・公害防止組織法 ・大気汚染防止法 ・水質汚濁防止法 ・浄化槽法 他 ・土壌汚染対策法 ・騒音規制法 ・生物多様性基本法 ・グリーン購入法	・環境影響評価法 ・省エネ法 他 ・化学物質排出把握管理促進法 他 ・資源有効利用促進法 他 ・工場立地法 ・自動車NOx・PM法 ・湖沼水質保全特別措置法 ・振動規制法 他 ・遺伝子組換え生物規制法 他
3 まとめ		・法令管理を「維持」するために必要なこと ・コンプライアンスの向こう側 — 持続可能な社会のために		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時	2026年 6月16日(火) 東京会場	
	2026年12月 8日(火) 東京会場	各回とも 10:00～17:00

受講対象	・労働安全衛生管理者、推進担当者の方	
講師	後藤 博俊氏 ゴトウ労務安全衛生管理事務所 代表 昭和41年名古屋工業大学卒業 同年 労働省入省、山口労働基準局監督課長、労働省中央労働衛生専門官、環境庁高層大気保全対策室長、労働省環境改善室長、岐阜労働基準局長、兵庫労働基準局長などを歴任、その間、ILO職業安全衛生担当アドバイザー、タイ王国労働社会福祉省顧問等の海外勤務のほか、「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択されたUNEP(国連環境計画)の国際会議の日本政府代表代理、「化学物質条約(第170条約)」が採択されたILO(国際労働機関)第77回総会の日本政府代表顧問(第170号条約担当)など国際的にも活躍。 平成18年6月から平成22年5月まで(社)日本労働安全衛生コンサルタント会専務理事、理事退任のあと(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会顧問。 ほかに平成11年4月から平成14年3月まで岐阜大学医学部非常勤講師、平成19年4月から平成24年3月まで帝京平成大学客員教授、平成20年4月から平成26年3月まで帝京大学客員教授を歴任。	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい	～労働安全衛生のエキスパートによるわかりやすい講義～ 組織の労働安全衛生管理者や推進担当者の方々にとって、労働安全衛生関連法規の知識は欠くことのできないものです。 本セミナーでは、元労働基準監督官でもある講師が、労働安全衛生関係法令についてわかりやすく解説いたします。労働安全衛生関係法令を学ぶうえの基本の考え方、そして労働安全衛生法、労働安全衛生規則等のポイントを最新の情報とともに分かりやすく学んでいただけます。なお、ISO 45001についても概要について解説いたします。
-----	---

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】	12:00～13:00
1 労働安全衛生関係法令を理解するために		(1) 法律・政令・省令・告示・公示・通達とは (2) 労働安全衛生と事業者責任 (3) 労働安全衛生と安全配慮義務 (4) 労働安全衛生法と労働基準法	3 労働基準法における労働時間法制的概要 (労働時間規制の主たる目的は労働者の健康管理、2024年問題とは)	
2 労働安全衛生法の解説		(1) 労働安全衛生法関係法令の体系 (2) 労働安全衛生関係法令のポイント (3) 労働安全関係法令における化学物質の自律的管理 (4) 労働安全衛生規則の主要事項の解説 (5) 特別規則の主要事項の解説	4 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の概要 (1) 労働安全衛生マネジメントシステム (2) ISO45001(JIS Q 45001、JIS Q 45100)の概要 (3) リスクアセスメントと安全の定義	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ここからはじめる BCP(事業継続計画)セミナー (入門編)

開催日時 **2026年 6月10日(水)** **オンライン** **2026年 11月 6日(金)** **オンライン**
2026年 8月24日(月) **東京会場** **2027年 2月15日(月)** **東京会場**
各回とも 10:00~17:00

受講対象	・BCP＝(事業継続計画)を事業戦略に組み込む具体的な方策を知りたい経営層 ・災害時の安全配慮義務への対応をBCPに組み込みたい経営層 ・これからBCPを策定する新任の責任者・担当者の方々 ・BCPのスキルがなく、予算も人もつけてもらえず、独力でBCPを策定している担当者 ・BCPを作ったあと足りない部分があるとお考えの責任者・担当者
講師	秋月 雅史 氏 一般社団法人日本能率協会 BCP担当講師 一般社団法人全日本警心協会 理事長 一般社団法人日本企業危機管理協会 理事
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい **経営をストップさせない備えをどう作るか?**
「想定外」と言われた2011年の東日本大震災を経験した日本は、その後、「想定外」を克服して強靱な国になったと言えるでしょうか?
2011年以降の日本では、レベルもさまざまな自然災害・事故が続いており、BCP(Business Continuity Plan=事業継続計画)の整備が強く求められています。
しかしながら、一度作ったBCPをどのように育て、定着させていくのか、という課題を抱える企業がまだまだ多いようです。また、災害時の初動でもっとも重要なダメージ・コントロールが軽視されている傾向も見受けられます。その結果、約100億円の特別損失を計上する事例なども報告されることもあります。
本セミナーの「入門編」では、これからBCP(事業継続計画)を策定する企業を中心に、前述の課題を解決するBCP(事業継続計画)の作り方・動かし方の基礎を1日で学んでいただけます。
また、災害発生時の事業運営にあたって、企業側の安全への配慮も強く求められるようになってきており、経営にとっての重要課題となっています。
本セミナーでは、事業の継続と企業の安全配慮義務を両立させる仕組みについても解説いたします。

■ プログラム		10:00～17:00 【昼休み】 12:00～13:00	
1 オープニング		5 動くBCP作成の3 + 1のポイント	
2 BCPの概要と現状 - BCPのあるべき姿とは - 日本企業におけるBCPの課題－東日本大震災の経験を振り返って		- 経営層が立てた事業継続方針を実装するためのBCP作成 - 災害時に機能を発揮できるBCP作成の3 + 1のポイント 演習 結果から考える練習/操業度の設定/操業度に応じた復旧プラン作成	
3 BCPが作れない3 + 1の理由		6 動くBCPに必要な安全配慮義務対応	
4 動くBCPの戦略 - 企業戦略とBCPの基本的考え方 - BCPを事業戦略の一環として組み込むための具体策とは 演習 BCP戦略の選択/適用範囲の選択/BCP方針の決定		- 事業継続計画に、安全配慮義務を組み込むための具体的な手順 演習 安全配慮義務への対応度チェック	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

次にやること BCP(事業継続計画)セミナー (深掘り編)

開催日時 **2026年 9月17日(木)** **オンライン** **2027年 3月 2日(火)** **オンライン**
各回とも 13:00~17:00

受講対象	・自社のBCPに有効性・実効性が足りない部分があるとお考えの担当者 ・BCP(事業継続計画)を事業戦略に組み込む具体的な方策を知りたい経営層 ・BCPを組織に定着させたいと考えている担当者 ・ファシリティの復旧プランを具体的に作成したい担当者
講師	秋月 雅史 氏 一般社団法人日本能率協会 BCP担当講師 一般社団法人全日本警心協会 理事長 一般社団法人日本企業危機管理協会 理事
参加料(税込)	日本能率協会法人会員：37,400円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：37,400円/1名 上記会員外：41,800円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい 現状のBCPの課題を客観的な評価基準で確認・採点したうえで、BCP性能向上のための具体的な施策を提示する。

■ プログラム		13:00~17:00
1 オープニング		
2 日本のBCPの歴史 - 日本のBCPの特徴 - 世界のBCPの特徴 - 日本固有のBCPの課題		
3 BCPの深掘りが難しい5+1の理由 - あらゆる業務停止に対応できているか?(実効性) - ダメージコントロールは万全か?(実効性) - 復旧方法は手順書になっているか?(実効性) - 教育と訓練は十分に実施しているか?(実効性) - BCP定着のための横串組織はあるか?(実効性) - ファシリティ毎の復旧手順はあるか?(実効性)	4 演習 BCPの成熟度チェック 演習 災害対策本部運用手順 演習 訓練実施方法、他 - 個社ごとのBCP成熟度チェック - 具体的課題の抽出 - 災害対策本部の手順 - 災害時に有効な情報処理方法 - 有効な訓練の実施方法 - BCPを後押しする横串組織	
	5 ファシリティBCP オフィスビル・工場・物流倉庫等のファシリティの具体的復旧手順	
	6 演習 ファシリティ復旧手順作成 ファシリティレベルの復旧手順の作成方法	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



目からウロコの 「自社ブランディング力向上」 セミナー

開催日時 **2026年10月21日(水)** **オンライン** 10:00～17:00

受講対象

- ・「ブランド」という言葉は普段使っているが、あらためて「ブランディング」の基本や実践手法をきちんと学びたい方
- ・企業競争力の源泉がブランド力にあると痛感されている経営層や管理職、担当部門の方
- ・ブランディングとサステナビリティの親和性について、腹落ちしたい方
- ・BtoB企業だから、ブランディングはあまり必要ないと思っていたが、採用活動に際して急務と感じている方
- ・最近、ブランド担当になられた方
- ・ブランディングを真剣にとらえないと、(中長期の視点で)企業価値が高まらないという危機感を社内で共有したい。その上できちんと取り組み、競争優位につながっていくということを、組織内で共通認識としたい方
- ・「目先の利益は大事。ただ目先の利益を続けていくためにはブランディングが必須」という考え方に共感いただける方

講師 **細田 悦弘 氏**
一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名
上記会員外：47,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい 本セミナーでは、企業にとって重要度が高まるブランディングの全体像を把握します。ブランドとは何かといったところからスタートし、ブランディングの超基礎から社内啓発のノウハウ、そして戦略メソッド「サステナブル・ブランディング」の考え方やその実践手法のエッセンスまでを“1日で学べる”内容となっています。

■ **プログラム** 10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00

- | | |
|---|---|
| <p>1 企業ブランド重視の時代</p> <p>2 ブランディング超基礎</p> <p>3 ブランド・アイデンティティと“約束(プロミス)”</p> <p>4 ワークショップ 他社との交流のもと、“自社らしさ”を探究する</p> <p>5 「サステナブル・ブランディング」のすすめ</p> | <p>6 非財務とコーポレート・レпутーション</p> <p>7 サステナビリティ発想のコーポレート・コミュニケーション</p> <p>8 企業ブランドは、社会から見た信頼と愛着の旗印</p> <p>9 ブランドは競争優位の源泉～企業価値を高める“無形資産”</p> <p>10 戦略的社内浸透術！「インターナル・ブランディング」</p> |
|---|---|

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



サステナビリティでつかむ！ 「時代が求める新しい 企業競争力アップ」セミナー

開催日時 **2026年11月27日(金)** **オンライン** 10:00～17:00

受講対象

- ・経営計画や事業戦略に、サステナビリティを組み込む意義や必要性が何かモヤモヤしている方
- ・サステナビリティと企業価値向上とのつながりがしっくりきていない方
- ・サステナビリティ推進部門として、役員や事業部門の“腹落ち”が必須であると痛感されている方
- ・サステナビリティを推進するにあたり、他部門の巻き込み方に課題を抱える経営者、担当部門の方
- ・時代にふさわしい新規事業開発をミッションとするマーケティング部門の方
- ・サステナビリティへの取り組みを真剣にとらえないと、(中長期の視点で)企業の利益を損なうものであるという危機感を社内で共有したい。その上できちんと取り組み、企業の稼ぐ力や新しい競争力につながっていくということを、組織内で共通認識としたい方

講師 **細田 悦弘 氏**
一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名
上記会員外：47,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい 本セミナーでは、サステナビリティについて本質的・体系的に学び、それをレバレッジとして新しい価値創出や新しい市場創造につなげる戦略思考や切り口を身につけます。「ビジネスによる社会課題解決」がこれからの主流のビジネスチャンスとなることを豊富な事例とともにわかりやすく解説し、ワークを通じて他社との交流のもと実践的なノウハウを養います。

■ **プログラム** 10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00

- | | |
|--|--|
| <p>1 これからの「良い会社」とは</p> <p>2 パーパスを実現する「変化への対応力」</p> <p>3 時代が求める「経営の視座」</p> <p>4 サステナビリティ時代の新しい価値創造</p> <p>5 ワークショップ サステナビリティを味方につけた“新しい価値創出・新しい市場創造”</p> | <p>6 企業価値を高める！サステナビリティ</p> <p>7 社員の心に灯をともし！「非金銭報酬」</p> <p>8 サステナビリティ経営のご利益(ごりやく)</p> <p>9 “選ばれる会社”であるために</p> |
|--|--|

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) 理解促進コース

開催日時	2026年 7月 2日(木)～ 3日(金) オンライン 2026年 10月 22日(木)～ 23日(金) オンライン 2027年 2月 4日(木)～ 5日(金) オンライン	各回とも 10:00～17:00												
受講対象	・ISMS事務局、管理担当者 ・社内セキュリティ推進担当者・関係者 ・ISMS内部監査員(候補)、事業継続計画の担当者													
講 師	高山 洋美 氏 一般社団法人日本能率協会 主任講師	<table border="1"> <tr> <th>参加料(税込)</th><th>【2日間連続参加】</th><th>【1日目または2日目のみの1日参加】</th></tr> <tr> <td>日本能率協会法人会員</td><td>79,200円/1名</td><td>41,800円/1名</td></tr> <tr> <td>JMAでISO審査を受けている企業 上記会員外</td><td>79,200円/1名</td><td>41,800円/1名</td></tr> <tr> <td></td><td>91,300円/1名</td><td>47,300円/1名</td></tr> </table> ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。	参加料(税込)	【2日間連続参加】	【1日目または2日目のみの1日参加】	日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名	JMAでISO審査を受けている企業 上記会員外	79,200円/1名	41,800円/1名		91,300円/1名	47,300円/1名
参加料(税込)	【2日間連続参加】	【1日目または2日目のみの1日参加】												
日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名												
JMAでISO審査を受けている企業 上記会員外	79,200円/1名	41,800円/1名												
	91,300円/1名	47,300円/1名												

- ねらい
- ◆ ISMS規格の全体像を2日間かけてしっかり学べる。
 - ◆ 規格改訂箇所に焦点をあて、ISMS認証取得及び運用のポイントを学べる。
 - ◆ 自社のISMSをより効果的なものにするための“見直し・改善”のポイントをわかりやすく学べる。

■ プログラム		10:00～17:00	【昼休み】 12:00～13:00
【1日目】 ISMS基礎セミナー (基礎編)	【2日目】 ISMS管理策セミナー (管理策編)		
1 オリエンテーション - 自己紹介、ミニワーク「あなたの周りの「100点」と「0点」セキュリティ」 2 JIS Q 27001 要求事項概説 4章～10章のポイント解説 3 リスクアセスメント解説 - 情報セキュリティアセスメント、リスク対応 4 グループワーク - リスク評価演習 5 不適合とは是正処置 - 不適合とは是正処置解説 6 グループワーク - 不適合対応演習 7 まとめ & 質疑応答	1 オリエンテーション - 自己紹介、ミニワーク「身近な管理策探し」 2 組織的管理策 5.1～5.37 組織体制の整備、組織が策定した規程や手順などに従った情報資産の取扱いのほか、アクセス権限の付与、外部委託先の管理、インシデント対応、事業継続管理、法令などに関する要求事項 3 人的管理策 6.1～6.8 従業員の意識向上、責任、リモートワーク、インシデント報告など、人に焦点を当てた管理策群。(8管理策) 4 物理的管理策 7.1～7.14 施設、設備、資産の物理的な保護、監視、媒体の安全な取り扱いなどに関する管理策群。(14管理策) 5 技術的管理策 8.1～8.34 アクセス制御、ネットワークセキュリティ、暗号化、セキュアな開発・運用、ログ取得・監視といった技術的な側面に焦点を当てた管理策群。(34管理策) 6 グループワーク - 適用宣言書作成演習 7 事業継続 5.29～5.30 事業の中断・障害時の情報セキュリティ、事業継続のためのICTの備え 8 法規制 5.31～5.34 法令、規制及び契約上の要求事項、知的財産権、記録の保護、プライバシー及びPIIの保護 9 グループワーク - 事業継続計画検討 10 まとめ & 質疑応答		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) 内部監査員養成コース

開催日時	2026年 6月 11日(木)～ 12日(金) 東京会場 2026年 9月 17日(木)～ 18日(金) 東京会場 2026年 11月 26日(木)～ 27日(金) 東京会場 2027年 2月 18日(木)～ 19日(金) 東京会場	各回とも 【1日目】 10:00～18:00 【2日目】 9:30～17:00									
受講対象	・ISMS内部監査員候補の方々 ・各部門の管理者・責任者・リーダー ・ISMS社内推進事務局責任者・リーダー										
講 師	高山 洋美 氏 一般社団法人日本能率協会 主任講師	<table border="1"> <tr> <th>参加料(税込)</th><th>日本能率協会法人会員</th><th>90,200円/1名</th></tr> <tr> <td>JMAでISO審査を受けている企業</td><td>90,200円/1名</td><td></td></tr> <tr> <td>上記会員外</td><td>101,200円/1名</td><td></td></tr> </table> ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。	参加料(税込)	日本能率協会法人会員	90,200円/1名	JMAでISO審査を受けている企業	90,200円/1名		上記会員外	101,200円/1名	
参加料(税込)	日本能率協会法人会員	90,200円/1名									
JMAでISO審査を受けている企業	90,200円/1名										
上記会員外	101,200円/1名										

- ねらい
- ◆ 監査技法を習得できる実践的な演習を多く取り入れているコース。
 - ◆ ISMS規格がレビューできる。 ◆ “内部監査＝不適合探し” ではないことを習得できる。
 - ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

■ プログラム		【1日目】 10:00～18:00	【2日目】 9:30～17:00	【昼休み】 12:00～13:00
【1日目】	【2日目】			
1 オリエンテーション - 自己紹介 - ミニワーク「情報セキュリティとは？」 2 内部監査とは何か - 内部監査とは - 内部監査員の役割・機能、力量 - 監査の原則 - 内部監査の目的 - 適合性監査 & 有効性監査 3 JIS Q 27001 要求事項の解説 4 不適合指摘 演習1 - 適合/不適合/改善の機会(観察事項)の特定と報告書作成 5 情報セキュリティー関連法規制概要 - 情報保護に関する主な法令 - 知的財産権に関する主な法令 - コンピュータ犯罪に関する主な法令 - 社会的インフラに関する主な法令 - 設備に関する主な法令 6 内部監査プログラム - 監査の流れ ～計画と準備、監査の実施、報告&フォローアップ～ - 年間計画&詳細(個別)計画 - 監査チームと監査チームリーダー - 監査の進め方 - プロセスアプローチによる内部監査 7 内部監査員の力量 8 個別監査の実施 9 一日目のまとめ - 質疑応答	10 監査の技法 - 監査シナリオの描き方 - サンプリングの考え方 - 監査チェックシートの作り方 - 監査の基本的な進め方 - コミュニケーション技法 11 監査所見・監査結論の作成 12 監査プロセス演習 演習2 - 監査シナリオ・チェックリスト作成 事例を対象に、監査シナリオ・チェックリストを作成 - 模擬監査実習(13:00～15分/グループ) 監査ロールプレイング(インタビュー・証拠確認) - 監査報告書の作成 監査結果の評価、不適合指摘、観察事項(改善の機会) - 演習結果発表(15:00～10分/グループ) 13 不適合の修正とは是正処置 演習3 - 監査所見と監査結論の応答 ケーススタディ 14 理解度テスト 15 クロージング - 質疑応答			

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



～ ISO22002-100、-1 (食品 製造)、-4 (包装材の製造) 対応 ～

FSSC22000 (食品安全システム認証規格) 内部監査員養成コース

開催日時	Ver.7対応版となります		
	2026年 9月28日(月)～ 9月29日(火)	東京会場	各回とも 9:30～17:30
	2026年11月16日(月)～11月17日(火)	大阪会場	
	2026年11月30日(月)～12月 1日(火)	東京会場	
	2027年 1月25日(月)～ 1月26日(火)	東京会場	
	2027年 3月15日(月)～ 3月16日(火)	東京会場	

受講対象	- FSSC22000内部監査員候補 - 食品安全の管理責任者・社内推進事務局・チームリーダー・推進担当者の方々 - 取引先監査、二者監査の担当者
------	---

講 師	田中 辰幸 氏	参加料(税込)	日本能率協会法人会員：81,400円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：81,400円/1名 上 記 会 員 外：92,400円/1名
	合同会社FSマネジメント 代表 一般社団法人日本能率協会 FSSC主任講師		※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい	本コースは、FSSC22000の取得企業やこれから認証取得をめざす企業を対象にした、実践的な内部監査員を養成するためのプログラム。現役審査員の講師が、内部監査のしくみや規格解釈などの講義、模擬監査や演習などの実践を通じて、内部監査の重要ポイントを伝達する。 ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。
-----	--

■ プログラム		9:30～17:30	【昼休み】 12:00～13:00
【1日目】	【2日目】		
オリエンテーション セミナー全体の目的・流れ	演 習 模擬監査の実施(ロールプレイ)		
講 義 ① FSSC22000 規格の目的・ねらい、全体概要、規格の構成	講 義 ⑤ 監査所見・監査結論		
講 義 ② 内部監査のしくみ (監査員に必要な力量、目的・原則、監査の流れ、監査員の役割、)	演 習 不適合の記述・発表		
講 義 ③ 【規格理解】ISO22000の解説	演 習 修正処置と是正処置の記述・発表		
演 習 不適合事例による規格との結び付け	講 義 ⑥ 規格理解 ISO22002、追加要求事項		
講 義 ④ チェックリストの目的、作成ポイント	演 習 ビデオによるPRP演習		
演 習 チェックリストの作成	※演習ではグループディスカッションで理解を深めます。		
レビュー	コースレビュー、理解度テスト、質疑応答		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

FSSC22000(Ver.7)対応版

FSSC22000 規格解説・ システム構築シリーズ

2日間コース 選択受講可 (ISO22000編、ISO22002-100 及び ISO22002-1編)

開催日時	2026年 8月24日(月)～25日(火)	東京会場	各回とも 【1日目】 10:00～17:00 【2日目】 9:00～17:00
	2026年10月13日(火)～14日(水)	東京会場	
	2026年12月 3日(木)～ 4日(金)	オンライン	
	2027年 2月 8日(月)～ 9日(火)	オンライン	

受講対象	- FSSC22000の認証取得に向けて準備中・ご検討中・構築中の担当者 - ISO22002-1、-100要求項目に対して、現場でどの程度のレベルまで対応すべきかを悩んでいる担当者 - FSSC22000認証取得に向けて、具体的にどのように取り組みればよいのかが分からない担当者 - 食品安全・衛生管理のレベルを強化したいと考えている担当者 - コンサルタントの力を借りずに自力でFSSC22000認証を考えている企業の推進担当者 - FSSC22000内部監査員(候補)の方、二者監査の担当者の方
------	---

講 師	参加料(税込)	【2日間連続参加】	【1日目または2日目のみの1日参加】
宇野 由華 氏 FSアシスト 代表 一般社団法人日本能率協会 FSMS主任講師	日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名
	JMAでISO審査を受けている企業	79,200円/1名	41,800円/1名
	上記会員外	91,300円/1名	47,300円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください) ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。			

ねらい	◆ FSSC22000の全体像及び規格要求事項を理解する。 ◆ 要求事項に対して、具体的に何をすべきか、どの程度まで取り組みればよいのかを学ぶ。 ◆ FSSC22000、ISO22000を効果的に運用するためのポイントを学ぶ。
-----	---

■ プログラム		【1日目】 10:00～17:00 (昼休み 12:30～13:30) / 【2日目】 9:00～17:00 (昼休み 12:00～13:00)
【1日目】 ISO22000 編	【2日目】 ISO22002-100 及び ISO22002-1 編	
1 ISO22000規格の成り立ちと特徴 - ISO22000とFSSC22000 - 食品安全マネジメントシステムとHACCP - ISO22000の全体像	1 FSSC22000スキームの成り立ちと特徴 - GFSIによる認証プログラムの承認 - 規格改訂による主な変更点 - FSSC22000認証基準の構造	
2 ISO22000規格要求事項の解説とシステム構築のための具体的対応 - 箇条4 組織の状況 - 箇条5 リーダーシップ - 箇条6 計画 - 箇条7 支援 - 箇条8 運用 - 箇条9 パフォーマンス評価 - 箇条10 改善	2 ISO22002-100及びISO22002-1の規格要求事項の解説とシステム構築のための具体的対応 - 箇条4 建物の構造及び配置 - 箇条6 コーティリティー - 箇条8 廃棄物、食品ロス及び廃棄物の管理、再生利用 - 箇条9 装置の適切性及び保守 - 箇条11 倉庫を含む保管及び輸送 - 箇条13 清掃・洗浄及び消毒 - 箇条15 製品情報及び消費者向け情報 - 箇条16 食品防御及び食品偽装 - 箇条5 施設並びに作業場の設計及び配置 - 箇条7 ベストコントロール - 箇条10 購入材料の管理(マネジメント) - 箇条12 汚染の予防手段 - 箇条14 人々の衛生及び従業員のための施設用設備 - 箇条17 手直し品	
3 システム構築のポイント (ISO22000) - 規格が要求している“文書化した情報” - ギャップ分析とその活用方法 - システム構築の参考情報	3 FSSC22000 追加要求事項の解説とシステム構築のための具体的対応 - 箇条2.5.1 サービスと購入資材の管理 - 箇条2.5.2 製品のラベリング及び印刷物 - 箇条2.5.3 食品防御 - 箇条2.5.4 食品偽装の軽減 - 箇条2.5.5 ロゴの使用 - 箇条2.5.6 アレルゲンの管理 - 箇条2.5.7 環境モニタリング - 箇条2.5.8 食品の安全と品質の文化 - 箇条2.5.9 品質管理 - 箇条2.5.10 輸送、保管及び倉庫 - 箇条2.5.11 ハザード管理及び交差汚染防止手段 - 箇条2.5.12 PRP検証 - 箇条2.5.13 製品設計及び開発 - 箇条2.5.14 トレーサビリティ - 箇条2.5.15 設備管理 - 箇条2.5.16 食品ロス及び廃棄物 - 箇条2.5.17 コミュニケーションの要求事項 - 箇条2.5.18 多サイト認証を行う組織での要求事項	
4 質疑応答	4 システム構築のポイント (ISO22002-100、ISO22002-1、FSSC22000追加要求事項) - 規格が要求している“文書化した情報” - システム構築の参考情報 - ギャップ分析とその活用方法	
	5 FSSC22000審査における注意点	
	6 質疑応答	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。





新規開催

FSSC22000

内部監査員のための

差分セミナー

〔Ver.7対応〕

開催日時

2026年12月10日(木)
2027年1月12日(火)
2027年2月10日(水)
2027年3月2日(火)

東京会場

オンライン

オンライン

東京会場

各回とも

13:00～16:30

※各回とも、満席となる場合がありますので、早期申込をおすすめいたします。

受講対象

- FSSC22000 ver.6(以前)の内部監査員の方
- 対象組織：食品製造
- カテゴリC：食品、材料及びペットフード
- カテゴリK：ケミカル及びバイオケミカル

講師

徳永 税氏

柏の葉技術経営研究所 代表
一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込)

日本能率協会法人会員：33,000円/1名

JMAでISO審査を受けている企業：33,000円/1名

上記会員外：36,300円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

FSSC22000 ver.7への改定では、要求事項の見直しやリスク管理の強化、組織文化や食品安全の成熟度評価など、内部監査において確認すべき観点が大きく変化しています。
本セミナーでは、改定内容の要点を整理し、内部監査員として特に着目すべきチェックポイントや監査の進め方の実務的なポイントをわかりやすく解説します。受講者が自社の内部監査にすぐに活かせる知識と視点を身につけることを目的としています。

■ プログラム

13:00～16:30

1 FSSC22000 ver.7改定の全体像

- 改定の背景
- 移行期間
- 改定により留意すべき点（内部監査、マネジメントレビュー等）

2 規格要求事項の概要

- ISO22002-100, -1のポイント解説（4～17章）
項番ごとに要求事項の意図を説明します。
カテゴリC、Kの組織様が新たに対応が必要と考えられる箇所を重点的に解説します。
- 追加要求事項の概説
差分を重点的に解説します。
カテゴリC、Kの組織様が新たに対応が必要と考えられる箇所を重点的に解説します。

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



～ 工場経営の視点で、コスト・品質・安全・人財をとらえ、

食品工場の管理体制を盤石にする ～

新任工場長・幹部のための

食品工場マネジメントセミナー

開催日時

2026年10月29日(木)～30日(金)
2027年3月18日(木)～19日(金)

東京会場

東京会場

各回とも 10:00～17:00

受講対象

- 食品工場の新任工場長・幹部
- 食品工場の新任工場長補佐
- 上記の候補者の方々

講師

廣田 正人氏

株式会社日本能率協会コンサルティング
シニアコンサルタント

平林 晃一氏

株式会社日本能率協会コンサルティング
チーフコンサルタント

丹羽 輝氏

株式会社日本能率協会コンサルティング
チーフコンサルタント

参加料(税込)

	【2日間連続参加】	【1日目または2日目のみの1日参加】
日本能率協会法人会員	79,200円/1名	41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業	79,200円/1名	41,800円/1名
上記会員外	91,300円/1名	47,300円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。（各自でご用意ください）
※法人会員ご入会の有無につきましては下記URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

食品製造にかかわる企業において、安全・安心でかつ高品質な商品の提供は、企業としての使命です。
その使命を工場として果たすためには、製造にかかわる様々なコスト、製品や設備の品質、食品安全、製造に携わる人たちすべてを含めた工場全体を管理・運営していくマネジメント体制のレベルアップが重要になってきます。
本セミナーでは、食品工場が抱える様々な課題解決のために、大きな役割を果たす食品工場長・幹部の方が、工場運営の基本と、コスト管理・品質管理・食品安全管理、そして人材育成についての知識を整理し、今後の工場運営に活かしていただくためのノウハウを学んでいただくことを目的としております。新任の工場長・幹部にとってはこれからの工場運営のヒントとして、また、現任の方にとっては現在の課題を解決する一助としていただければ幸いです。

■ プログラム

10:00～17:00（昼休み 12:00～13:00）

【1日目】マネジメントの基本とコスト管理編	【2日目】品質保証・食品安全と組織運営編
1 工場運営の基本 1)食品工場を取り巻く環境と工場運営の基本 - 経営指標（ROE、ROIC）と工場運営 2)工場経営に必要な目標達成のマネジメント 5つの勘どころ 3)工場長の役割を考える（社会環境への対応） 2 工場のコストと生産性向上のマネジメント - 工場のコスト構造と製造原価の基本 - 生産性向上マネジメント 3 生産管理と在庫管理 - 生産管理と在庫管理の基本 - 見込み生産の管理とフレキシブルな生産体制	4 品質保証と顧客満足度向上のマネジメント 1)食品工場に求められる品質保証体制 - 品質保証機能：5段階レベル 2)トラブル対応と再発防止、未然防止のマネジメント - 現場主導型の品質リスク管理 - リスク感知力の醸成 3)工場経営に期待される顧客満足度向上のマネジメント 5 食品安全マネジメントとフードディフェンス 1)食品安全の基本 2)食品安全マネジメントシステム活用の勘どころ 3)フードディフェンス：TACCPの考え方 6 工場の組織運営と人材育成のマネジメント 1)工場の組織運営の考え方 - 組織活性度の向上と人材育成：5段階レベル - 労働安全の重要性 2)工場の目指す姿(将来像)を描き、組織と人の成長を導く

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



食品安全チームリーダー 実務セミナー

開催日時	2026年 6月 3日(水) オンライン 2026年10月27日(火) オンライン 2027年 1月19日(火) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	・新たに食品安全チームリーダーに就任された方、もしくは就任予定の方 ・現在、食品安全チームリーダーの立場にあって、より知識を深めたい方	
講 師	山口 秀人 氏 山口フードコンサルティング株式会社 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上 記 会 員 外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

- ねらい

- ◆ 食品安全チームリーダーの実務の基本内容を講義・演習を通じて学ぶ。
 - ◆ 食品安全チームリーダーにとってのISO22000およびFSSC22000の基礎から、その立場としての実践ポイントまでを学ぶ。
 - ◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 FSMS&FSSCとは ーリーダーとしての規格理解のポイントー	5 マネジメントレビューで 食品安全チームリーダーが果たすべき仕事	
2 ISO22000&FSSC22000規格 要求事項上の 食品安全チームリーダーの役割・責任	6 改善・向上、システムレベルアップへの 視点とポイント ・ 演習② <ケーススタディ>	
3 FSMS&食品安全システムを運用するための 食品安全チームリーダーの心得	7 食品安全チームの 効果的マネジメントのために	
4 食品安全チームリーダーの業務上のポイント <リーダーシップとコミュニケーション> 対内的／対外的 ・ 演習① <ケーススタディ>	8 まとめ ・ 修了証授与	
ファイナルイベント：管理責任者自己宣言		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



～ ISO22000/FSSC22000認証の次へ さらなる改善・レベル向上へ行動する ～ 食品安全マネジメント 新任事務局セミナー

開催日時	2026年 4月20日(月) オンライン 2026年10月26日(月) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	・食品安全マネジメントの推進事務局になった方、これからなる方	
講 師	田中 辰幸 氏 合同会社FSマネジメント 代表 一般社団法人日本能率協会 FSSC主任講師	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上 記 会 員 外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

- ねらい

国内外で食の安全・安心への期待が高まるなか、食品関連企業にはISO22000/FSSC22000を初めとする第三者認証の取得を求められる例が増えています。認証取得を目指す、あるいは認証を維持していく体制としては、従来の品質管理部門などが主体となって取り組まれていることが多いと思われます。加えて、ハード(設備)、ソフト(人、ノウハウ)、原材料供給者、アウトソース先など、管理する対象が広範囲であることから、いわゆる社内事務局には高度な調整機能が求められますが、その担当者の育成には相当の年数と経験を要します。

本セミナーでは食品安全マネジメントの推進役である事務局の方々を対象に、早期に活躍できるように知識とスキルを身につけることを目的としています。特に、新たに事務局の担当になられた方々にも好適な内容となっております。
- 特 長

- ◆ 食品安全マネジメントの社内事務局や管理責任者に求められる役割、行動を学びます。
 - ◆ ISO／FSSC認証を効果的に活用していくポイントを学びます。
 - ◆ 規格や認証制度を理解する上で欠かすことのできない知識を伝えます。

■ プログラム		10:00～17:00 [昼休み] 12:00～13:00
1 事務局の役割を理解する ・ステークホルダーの期待とニーズを整理する ・期待とニーズから必要な知識と能力を整理する	3 事務局運営の能力 ・スケジュール管理 ・会議の有効化 ・検証活動・真因特定 ・コミュニケーション力の強化	
2 事務局運営の知識 ・ISO22000について(目的・特徴・適用範囲) ・審査登録制度について ・審査機関、審査員の活用方法 ・法令規制要求事項	4 FSMS運用上の課題と対策 ・食品安全目標が明確か ・文書体系の整理 ・内部監査が有効か ・食品安全チームの力量 ・改善の着眼点 ・マネジメントレビューが有効か	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

体系的に学んで「適用法規制を特定・参照」し
「法令順守」を確実にするための

「食品安全法規制」セミナー

開催日時	2026年 5月27日(水)～28日(木) 2026年 7月21日(火)～22日(水) 2026年 9月10日(木)～11日(金) 2026年 11月24日(火)～25日(水) 2027年 2月15日(月)～16日(火)	オンライン オンライン オンライン オンライン オンライン	各回とも 【1日目】 10：00～17：00 【2日目】 9：30～17：00
受講対象	・品質保証・品質管理部門・製造・生産部門 ・ISO9001・管理責任者・事務局、ISO22000事務局 ・QMS・FSMS・FSSC内部監査員 ・食品安全チームリーダー・メンバー ・QMS・FSMS・FSSC審査員		
講師	平野 展代氏 一般社団法人日本食品安全支援機構 理事長	参加料(税込) 日本能率協会法人会員：90,200円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：90,200円/1名 上記会員外：101,200円/1名	※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい	最新の食品関連法規制に関する動向から、主要な法規制の内容理解をはじめ、順守体制の整備や法令の検索方法、最新情報の入手方法などを学べる。 ◆ 法規制に関する知識(食品関連法令の体系、順守すべき法規制内容、及び最新情報)を習得する。 ◆ 食品衛生法などの違反の事例について、ケーススタディーを含めて学習する。 ◆ 法令の検索方法や、最新情報入手の方法を学ぶ。
-----	--

■ プログラム		【1日目】 10:00～17:00 (昼休み 12:00～13:00) / 【2日目】 9:30～17:00 (昼休み 12:00～13:00)
【1日目】	【2日目】	
0 はじめに - 本セミナーのねらいと構成 - 法令順守と危機管理の体制作り - 食品安全・表示等に関連する法規制 - 一般的な法令等の体系と呼称 1 食品業界を取巻く情勢と行政の動き - 第1章：最近の食品業界を取巻く情勢と行政の動向 - 第2章：食品安全行政に関連する府省庁の役割 2 食品衛生法 - 第1章：食品衛生法の体系 - 第2章：食品衛生法の概要 - 第3章：乳及び乳製品の成分規格等に関する省令(乳等省令) - 第4章：食品衛生法に関わる告示・通知 3 食品表示法 - 第1章：食品表示法の体系 - 第2章：食品表示法の概要 4 フードチェーンに関連するその他の法律 - 第1章：フードチェーンに関連する法令の概要 1. 医薬品医療機器等法 2. 健康増進法 3. 景品表示法 4. 不正競争防止法 5. 計量法 6. 毒物及び劇物取締法 7. 水道法 8. 米トレーサビリティ法 9. JAS法 10. 流通食品毒物混入防止法 - 第2章 食品に関わる都道府県条例等	4 フードチェーンに関連するその他の法律(前日のつづき) - 第3章：その他の法令のポイント 1. と畜場法 2. BSE対策特別措置法 3. 牛トレーサビリティ法 4. 食鳥検査法 5. 消費者基本法 6. 消費者安全法 7. PL法 5 原材料・製品、施設・設備、従事者、製造工程等の衛生管理に関する法規制 - 第1章：原材料・製品の成分等に関する規格基準 - 第2章：器具及び容器包装の規格基準 - 第3章：施設・設備及び従事者に係る衛生管理に関する規制 - 第4章：製造・加工・調理工程の衛生管理に関する規制 - 第5章：施設の使用水の管理に関する規制 - 第6章：危機対応(回収・廃棄等)に関する規制 - 第7章：記録の作成及び保存に関する規制 6 許可、届出、表示に関する法規制 - 第1章：営業許可・届出 - 第2章：食品衛生管理者及び食品衛生責任者 - 第3章：食品の輸入に関する届出等 - 第4章：食品の表示事項 演習(ケーススタディ) 法令適合性の考え方	
	7 法令の検索、行政情報の収集 - 第1章：法令、通知等の検索 - 第2章：情報の収集	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

“食の安全・安心”をさらに確かなものとする!

食品偽装の要求事項 詳説セミナー

開催日時	2026年 11月26日(木)	オンライン	10：00～17：00
受講対象	・食品安全マネジメントシステム(FSMS、FSSC22000)を構築・運用中の組織の方々 ・食品関連企業の経営者、品質管理・品質保証部門の管理者、担当者 ・食品偽装(フードフラウド)の対応・対策に興味、関心をお持ちの方		
講師	山口 秀人氏 山口フードコンサルティング株式会社 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名 上記会員外：47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。	

ねらい	食品関連企業においては、食の安心・安全体制を強化する食品安全(フードセーフティ)対策が活発に進められており、HACCP、食品安全マネジメントシステム(FSMS)やFSSC22000の導入が推進されています。 また、昨今の食品偽装の問題もあり、GFS(Global Food Safety Initiative)ガイダンス文書第7版では「食品偽装(フードフラウド)」が要求事項として採用されました。FSSC22000をはじめとするGFSI承認スキームにおいても、既に規格要求事項として反映されはじめています。GFSIの承認スキームを認証取得している企業は、「食品偽装」に関するGFSI要求事項、知識、リスクアセスメントについて学び、対応していく必要があります。 本セミナーでは、「食品偽装」に関する要求事項の詳細、GFSIが食品偽装の要求事項を導入したその背景について解説いたします。また、ケーススタディを通じて「食品偽装脆弱性評価」の方法を学んでいただき、食品偽装対策推進のための実践的な理解をしていただくことを目的に開催します。
-----	---

■ プログラム		10：00～17：00	【昼休み】 12：00～13：00
1 食品製造・販売業に求められる“食の安全・安心”	6 承認スキームの要求事項		
2 意図的な問題の対応	7 食品偽装脆弱性評価方法		
3 食品偽装の違反事例とその背景	8 演習 食品偽装脆弱性評価方法		
4 食品偽装の定義	9 食品偽装脆弱性緩和計画の立て方		
5 GFSIベンチマーク要求事項Ver.7.0の内容	10 食品偽装 各法令・制度と関連した業務上の注意点		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



食品安全のための 現場観察・指摘実践力 習得セミナー

開催日時	2026年 7月 3日(金) オンライン 2026年10月19日(月) オンライン 2027年 3月 8日(月) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	- FSSC22000内部監査員(候補を含む)・推進事務局 - 実践的な“現場” 内部監査の手法を学びたい方 - HACCP、FSSC22000取得済み及び取得検討中の企業の方 - 食品メーカーの衛生管理のチームリーダー・スタッフ - 製造管理者、工場長 - 等	
講師	山口 秀人 氏 山口フードコンサルティング株式会社 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい **～HACCP検証、現場改善、実地監査の活用にも使える～**

“食品の安全・安心”に対する消費者の要求が高まる中、食品業界では異物混入をはじめとするトラブルをなくすため、ハード面・ソフト面で様々な対策を講じているにも関わらず、不祥事、事故・事件は一向に後を絶たない状況が続いています。

一過性の対策ではなく、異物混入に至った「原因」を明確に特定し、原因を除去する「再発防止」実現のためには、マネジメントシステムの整備とともに、単なる机上のルールづくりではない、現場での異物混入の発生についてのメカニズムや実践対策の知識・テクニックを理解し、管理する精度向上が重要となります。

本セミナーでは、具体的な【画像】の事例を通じて、製造現場で無理なく実践可能なルールづくりや監査活動にも活用できる、現場での問題点・ウィークポイントを捉える「観察力」「診断・調査力」「指摘力」のスキルの習得・向上をねらいとして、食品業界での指導経験豊富な講師がわかりやすく講義・解説していきます。

特 長

製造現場の具体的な【画像】を通じて

- ◆ 現場改善に繋がる内部監査員に必要な「観察力」「診断・調査力」「指摘力」の実践力、スキルアップ・力量の向上をねらいます。
- ◆ ISO22000/ISO/TS22002-1マネジメントシステムを現場実務に即した活動として実現するため、現場の問題点・課題のとらえ方をわかりやすく解説します。
- ◆ 「衛生管理のルールづくりが定着しない」「ルールがあるから大丈夫」という先入観により問題点を見過ごしている」という解決策につなげます。

■ プログラム	10:00～17:00	【昼休み】 12:00～13:00
1 食品異物混入問題の実態とその影響		
2 なぜ、異物混入・トラブルはなくなるのか？		
3 現場のウィークポイント・問題箇所のとらえ方		
4 内部監査に活用できる「原因究明」のとらえ方	－ 改善に直結する指摘のために －	
5 演習 改善・監査につながる「観察力」「診断・調査力」「指摘力」のスキルアップ		
6 まとめ・質疑応答		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

食品分野における 外部製造委託 診断・評価/改善セミナー

開催日時	2026年 6月 5日(金) オンライン 2026年11月20日(金) オンライン 2027年 3月19日(金) オンライン	各回とも 10:00～17:00
受講対象	- 委託先管理担当者 - 生産計画担当者 - 購買担当者 - 開発担当者 - 等 - 品質保証担当者	
講師	山口 秀人 氏 山口フードコンサルティング株式会社 代表取締役	参加料(税込) 日本能率協会法人会員:41,800円/1名 JMAでISO審査を受けている企業:41,800円/1名 上記会員外:47,300円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

消費者の嗜好の多様化に対応した逸早い商品開発や設備投資へのコストダウン等に伴う競争力向上のため、食品の外部製造委託は増加しており、委託先(サプライヤー)との相互連携はますます重要になっています。

しかし、同時に異物混入等の食品の安全管理・品質管理体制等の点検の課題も抱えています。外部の委託先に対しては、的確に診断し、正しく評価を行い、具体的な改善ができることが必要不可欠となります。

本セミナーでは、規格要求事項(HACCP、ISO9001、ISO22000、FSSC22000等)で求められる外注業務に対する管理手順のポイントを具体的に解説するとともに、実際に具体的に何を、どの程度まで取り組めばよいかを学んでいきます。

FSSC22000の審査をはじめ、数多くの食品メーカーの指導実績を持つ講師が、委託先・受託先の両者の観点から食品の外部製造委託におけるリスク管理も含めた外注管理にフォーカスを当て、事例を交えて講義をすすめていきます。

また、外注委託のポイントとなる「外注管理のチェックリスト」を提供いたします。

■ プログラム	10:00～17:00	【昼休み】 12:00～13:00
1 相互連携を実現する食品製造の外部委託とは		
2 外部製造委託で求められる施策と手順	－ ISO9001 とFSSC22000 との“いいとこ取り”の活用 －	
3 委託先の診断のポイントと診断項目の設定の仕方		
4 委託先の評価基準設定の仕方と評価結果の活用		
5 委託先への改善指導をどう行うか	－ 改善のすすめ方のポイント －	
6 まとめ、Q & A		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

食品防御と リスクアセスメント手法 習得セミナー

開催日時 **2027年 1月29日(金)** **オンライン** 10:00～17:00

受講対象

- 食品製造関連企業の経営者、品質管理・品質保証部門の管理者、担当者
- 食品安全マネジメントシステム（FSMS、FSSC22000）を構築・運用中の組織の方々

講師 **山口 秀人 氏**
山口フードコンサルティング株式会社
代表取締役

参加料(税込) 日本能率協会法人会員：41,800円/1名
JMAでISO審査を受けている企業：41,800円/1名
上記会員外：47,300円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては右記URLにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

食品防御の脅威に対する評価と対策は、食品安全認証の取得有無に関わらず全ての食品製造関連事業者にも必須事項です。

本セミナーは、自社の現状分析から有効な対策を検討・実行できるように、リスクアセスメント（自己診断）の要点を指導経験豊富な講師が解説いたします。

本セミナーの目的と期待できる成果

- 規格やガイダンス文書だけでは分かりづらい「How to(対策・方法)」を自社で見出すための視点を解説します。
- 食品防御対策事例を紹介（画像）し、管理ポイントの理解を深めていただきます。
- 演習と振り返りを通じて、「食品防御の脅威に対するリスクアセスメント」の方法を習得していただきます。

■ プログラム		10:00～17:00 【昼休み】 12:30～13:30
1 食品製造・販売業に求められる “食の安全・安心”と“意図的な問題”の対応	5 食品防御に関する要求事項・ ガイダンス文書の紹介	
2 GFSIベンチマーク要求事項 (バージョン2024)の説明	• FSSC22000のガイダンスドキュメント(Ver.7)の概説	
3 FSSC22000_Ver.7の改定内容	• PAS96:2017の概説	
4 食品防御の定義と脅威評価の重要性	• 米国FSMA（食品安全強化法）の概説	
	6 食品防御対策事例の紹介 ISO22002-100：2025の付属書Aに沿って	
	7 リスクアセスメント（自己診断）のポイント	
	8 演習 リスクアセスメント（自己診断）	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

講師派遣研修のご案内

ご要望例

- ◆ 本紙掲載の公開セミナーをそのまま実施してほしい
- ◆ 公開セミナープログラムをベースに自社用にカスタマイズしてほしい
- ◆ マネジメントシステムの構築について相談したい
- ◆ オンラインで研修してほしい



ご要望に応じたカリキュラムを設計してご提案いたします
お気軽にご相談ください

◆ ご相談は
<https://isoweb.jma.or.jp/inquiry/>
◆ または
E-mail : isoweb@jma.or.jp



個人情報等保護方針について

本保護方針は小会が保有する個人情報および特定個人情報（以下、「個人情報等」）を適切に管理運用するために、遵守すべき基本的事項を定めたものです。

- 法令・規範の遵守
小会は、個人情報等の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を、常に最新状態に維持するとともにこれを遵守いたします。
- 適切な情報管理の徹底
小会は、個人情報等の管理者を任命し、個人情報等の不正利用・紛失・破壊・改ざんおよび漏えいに対し適切な予防ならびに是正に関する措置を講じます。
また、すべての就労者に対し「個人情報等の取り扱い」についての教育訓練をおこない、適切な管理に取り組みます。
- 取得目的と範囲
小会は、個人情報等を提供いただく際には、その取得目的を明らかにして、必要な範囲で取得いたします。
- 取得目的範囲での利用
小会は、ご本人の同意を得た取得目的の範囲あるいは法令・規範に基づく要請の範囲を越えた利用、提供、取り扱いの委託はおこないません。
- 利用等の制限と管理
小会は、保有する個人情報等を守秘し、同意を得た利用目的の範囲あるいは法令・規範に基づく要請の範囲を越える取り扱いをおこなわないよう、適切に管理します。
同意を得た利用目的の範囲に基づき、社外と個人情報の授受をおこなう場合には、厳格な管理の下で取り扱うよう、小会が監理いたします。
- 個人情報等保護に関するマネジメントシステムの確立と継続的改善
小会は、適切な取り扱いをおこなうよう規程類および体制を整備して、個人情報等保護に関するマネジメントシステムを構築・実施し、これらを継続的に改善してまいります。
- 個人情報等の相談および苦情窓口
小会は、「個人情報等相談窓口」を設置し、お客様からの個人情報等に関するお問い合わせや苦情に対して、適切かつ誠実、迅速に対応いたします。
保有している個人情報等について、ご本人から開示、訂正、削除、利用停止の要請を受け付け、合理的に対処いたします。

制 定：2004年10月 1日
最終改定：2016年 1月 1日

お申し込みについて

C

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID番号を入力
(半角数字)

JMA“半角数字6ケタ”

※各コース右上の6ケタの数字を半角で入力してください。

or

検索ワードを入力

JMA“セミナー名称”

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
TEL：03(3434)6271

2



スマートフォン
タブレットから



【<https://school.jma.or.jp/>】

キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルのご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料 ※2026年4月1日～2027年3月31日 期間の開催一回限り変更受付
開催15日前～開催8日前 (開催当日を含まず)	参加料の10%	無 料
開催7日前～前々日 (開催当日を含まず)	参加料の30%	通い/オンライン： 5,500円 (税込)
開催日 前日	参加料の全額	通い/オンライン： 7,700円 (税込)
開催日 当日	参加料の全額	*日程変更は受付ておりません。 参加料の全額を申し受けます。

※日程変更手数料は、消費税を含みます。

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。

参加日程の変更については、1回に限り可能といたします(但し、
2026年4月1日～2027年3月31日会期に限る)。
開催7日前より、日程変更手数料が発生いたしますのでご注意ください。

なお、開催当日の日程変更は受付ておりません。

※一部のセミナーにおいて上記規定と異なる場合がございますので、
ご確認のうえお手続きをお取りいただきますようお願い申しあげ
ます。

ライブ型オンラインセミナーについて (🔊 のアイコンがついたコース)

「Zoom」を使って配信します。

オンライン受講の方法

- 事前に接続テスト (<https://zoom.us/test>) にアクセスいただき、動作をご確認ください。
- 1申込につき1名様でご受講ください。(著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けしません)
- ビデオオンできる環境をご用意ください。イヤホンやヘッドセット、外部スピーカーを使用しての受講をおすすめします。
- お申込み時、参加される方のメールアドレスを必ず登録してください。
- 本セミナーの講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。
- Zoomにおけるリモート制御ならびにレコーディング機能はホスト側にて停止させていただきます。

※お申込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約
(<https://school.jma.or.jp/pa/caOrE>) を
ご確認ください。⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

※お申込み完了を以て規約に同意したことといたします。



最少催行人数

6名 ※各セミナー開催14日営業日前左記に満たない場合は、
中止する場合があります。
お申し込みの方はお早目にお申し込みください。

お問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部

E-mail : isoweb@jma.or.jp

TEL : 03 (3434) 1242

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

※本教育研修プログラムは、一般社団法人日本能率協会 審査登録センターの
第三者審査登録活動とは峻別された独立した活動です。

申込に関するお問い合わせ先

(参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール

TEL : 03(3434)6271

電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く

メール : seminar@jma.or.jp

F A X : 03(3434)5505